

政策企画部

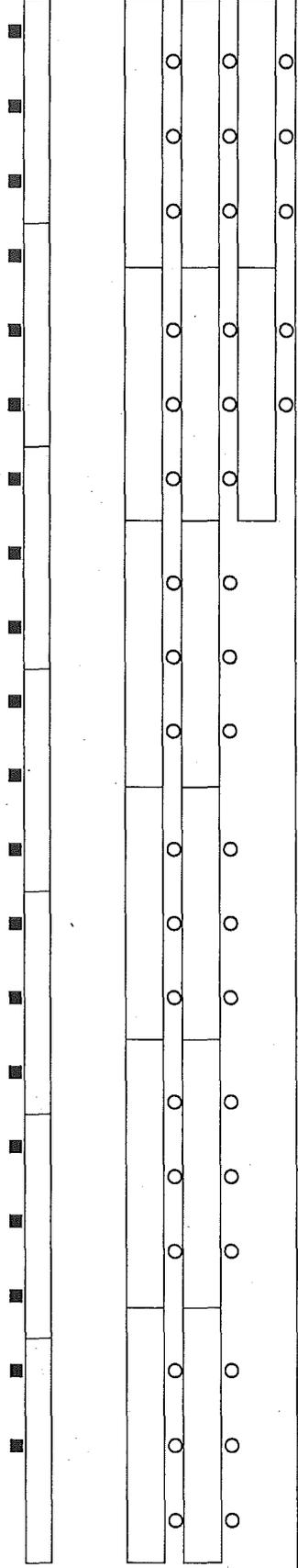
大阪維新の会大阪府議会議員団 政調会配席表【政策企画部】平成28年2月1日(月)11時10分～12時20分 第1委員会室

出入口

出入口

松坂	連政令市連携室 推進課長
井上	連政令市連携室 調整課長
仲田	空港・事業室 ・広域インフラ課長
山田	戦略事業室 推進課長
金森	企画室地域主権課長
川平	企画室計画課長
川端	企画室政策課長
坂田	秘書課長
川崎	政策企画総務課長
松原	戦略事業室 特区推進課長
吹井	青少年・地域安全室 青少年課長
内山	青少年・地域安全室 治安対策課長
山本	危機管理室 消防保安課長
西島	危機管理室 災害対策課長
谷口	危機管理室 防災企画課長

松井	政令市連携室長
村上	戦略事業室副理事
佐藤	戦略事業室副理事
金森	戦略事業室副理事
小林	戦略事業室長
露口	企画室副理事
柴野	企画室長
吉田	秘書長
田中	特区推進監
前川	報道監
井上	政策企画部次長
山口	政策企画部長
松岡	青少年・地域安全室長
森岡	危機管理室長
中村	危機管理監



資料 1

9, 0x

9, 0x 9, 0x

	9, 0x	
	— 9, 0x	
2 副首都推進等事業費	« » 9, 0x	
	9, 0x	
	— 9, 0x	9, 0x
	9, 0x	t

9, 0x

	9, 0x	
	9, 0x	

資料 2

9,

0x

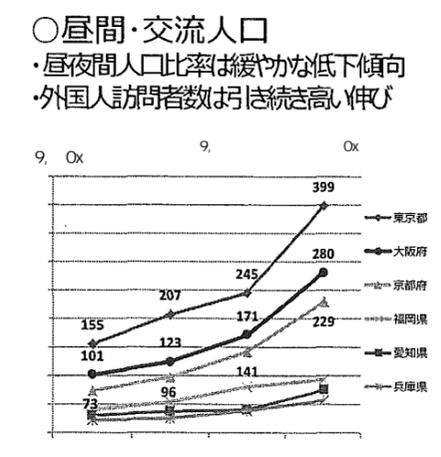
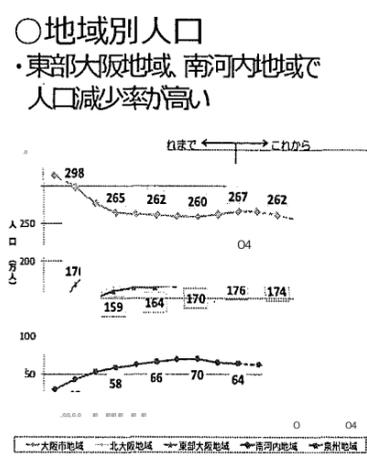
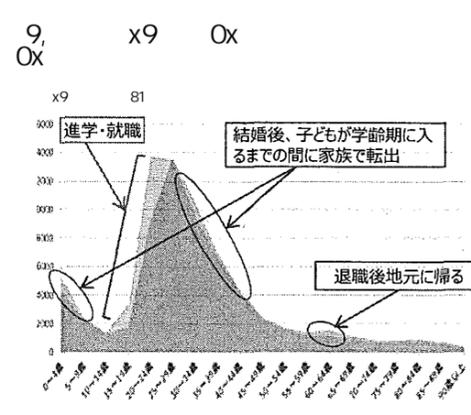
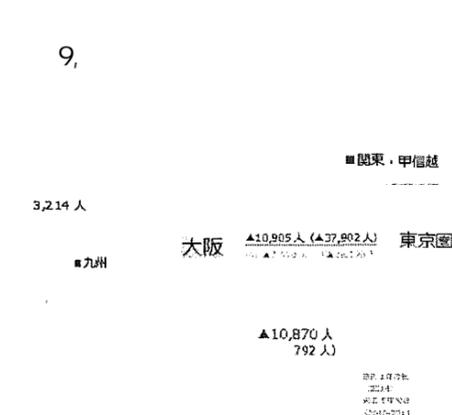
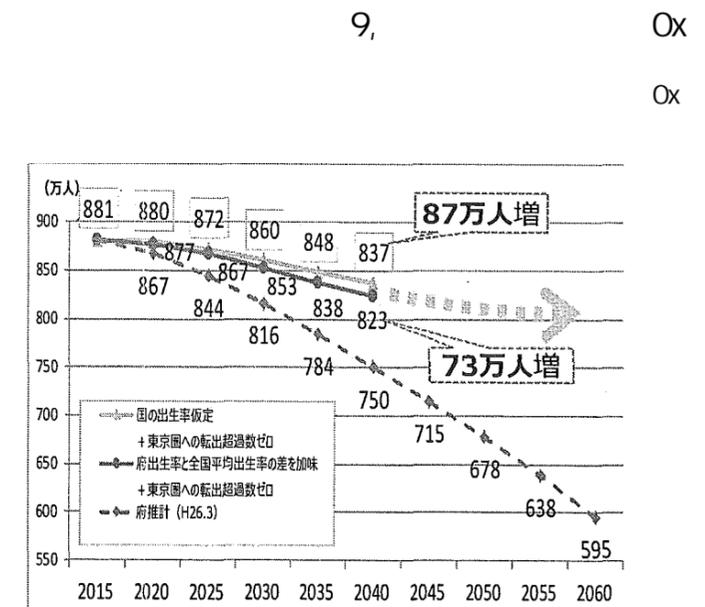
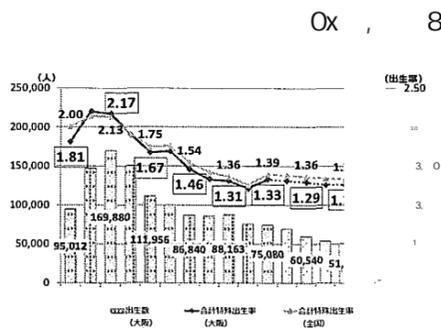
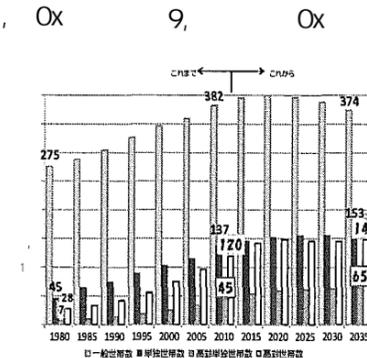
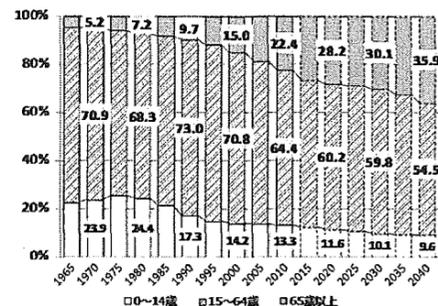
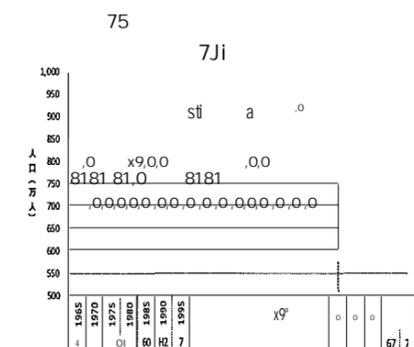
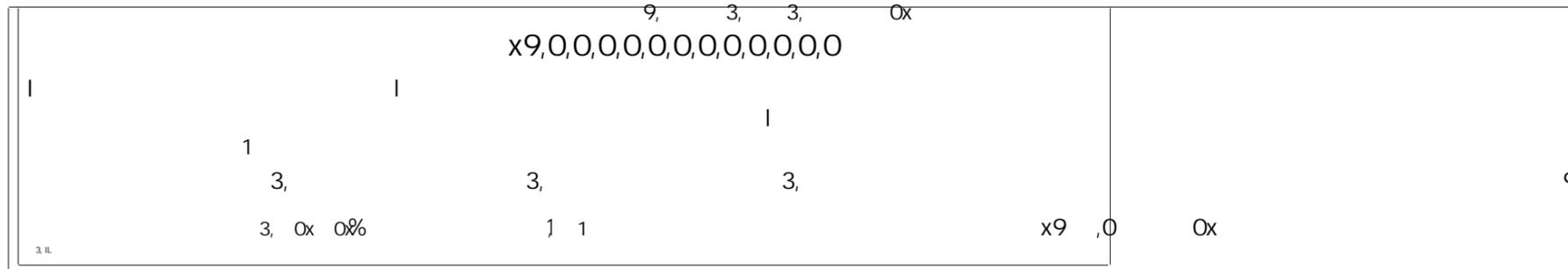
9, 0x

9, 0x

	81	3,

『大阪府人口ビジョン（案）』の概要

資料3

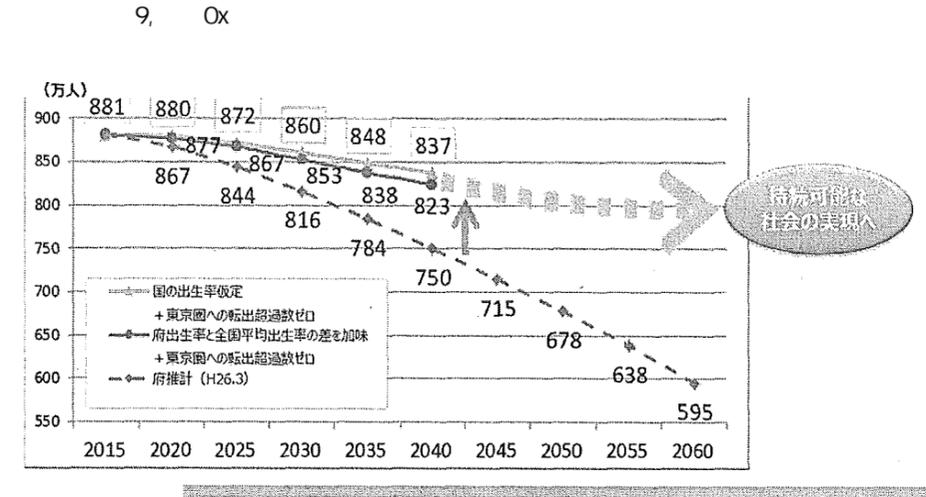


○地域別人口
・東部大阪地域、南河内地域で人口減少率が高い

○昼間・交流人口
・昼夜間人口比率は緩やかな低下傾向
・外国人訪問者数は引き続き高い伸び

取組みの方向性

- I 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現
- II 人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり
- III 東西二極の一極としての社会経済構造の構築



就業	100%
失業	0%
合計	100%



11

||

■

»

»

x9=i>

9,

9,

: Ox

9, Ox

9, Ox

9,

Ox

I

Ox

9, Ox

81 IOx

Ox

x9

9,

Ox

x9 /

9,

Ox

9,

Ox

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

x9

.....

.....

.....

.....

.....

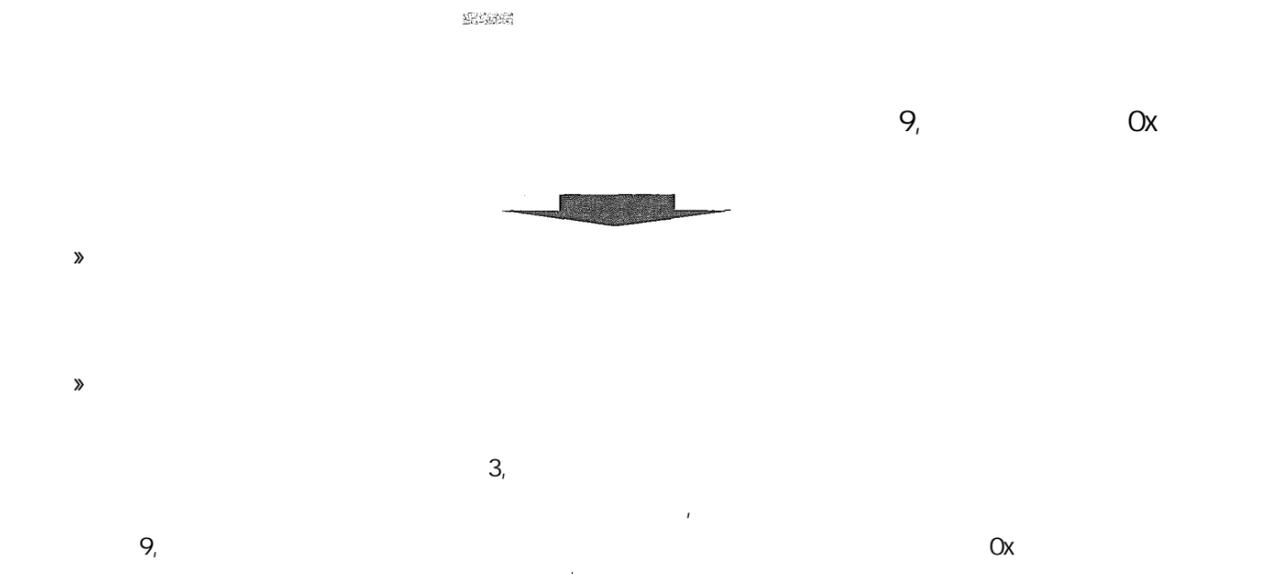
.....

.....

.....

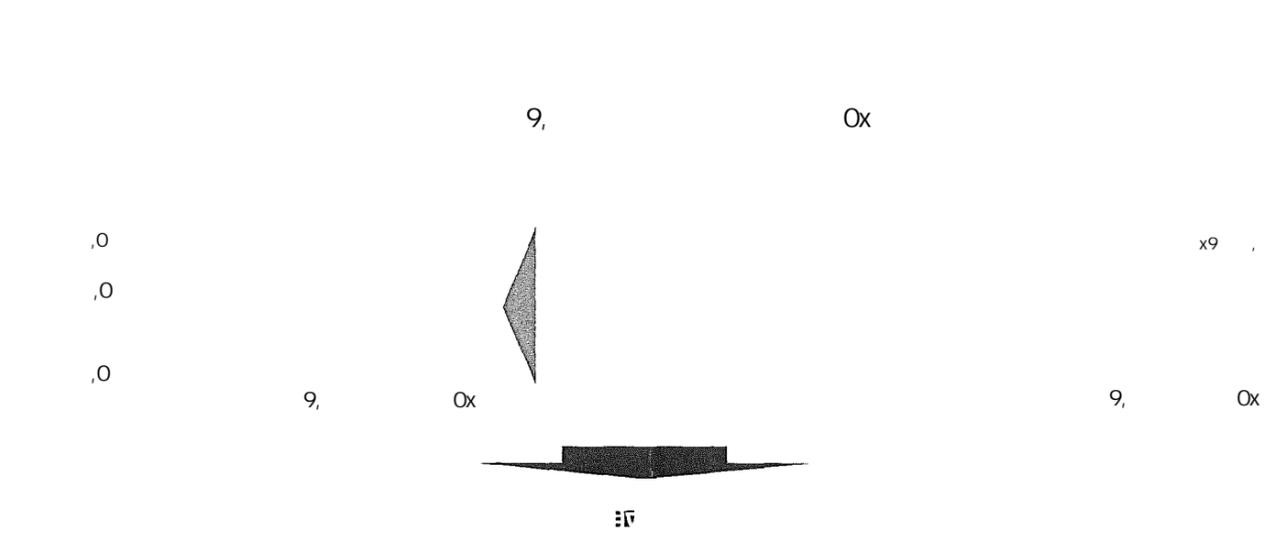
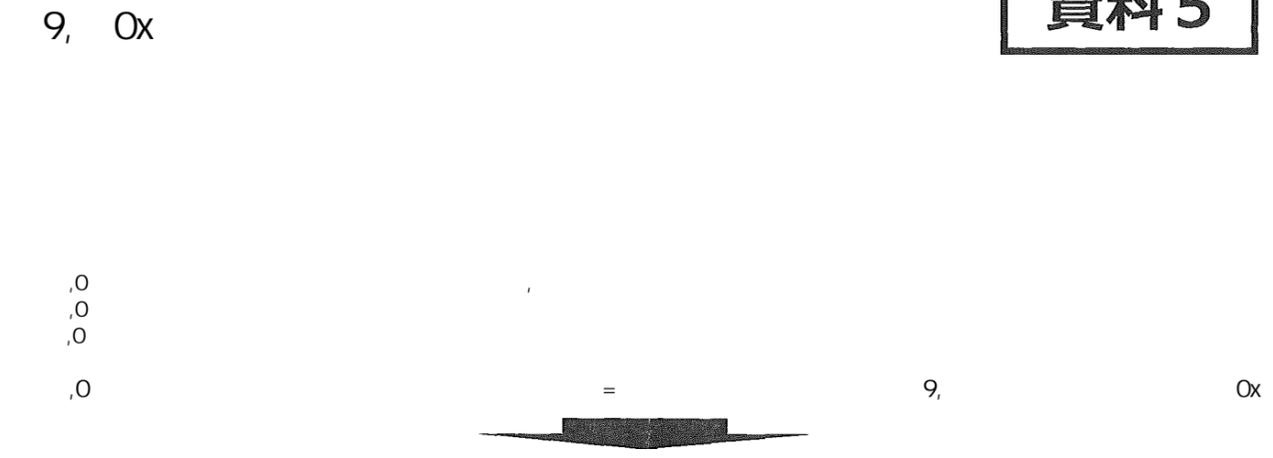
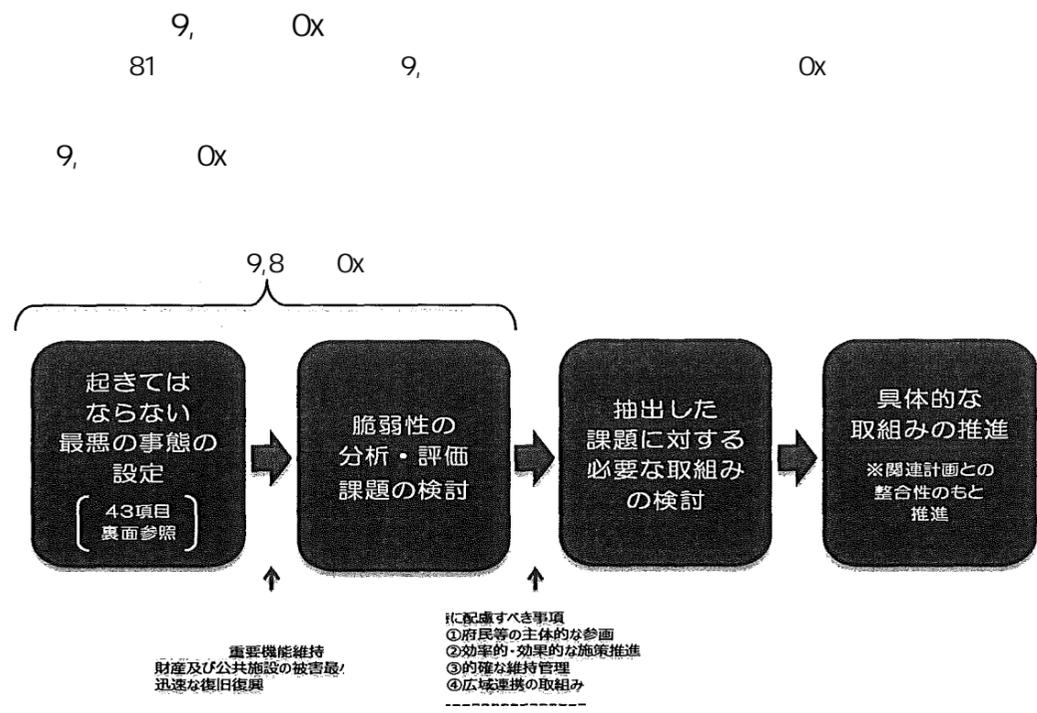
.....

.....



計画(案)の概要

【計画の目的】
 「起きてはならない最悪の事態」43 ケースを想定し、これらの事態を回避し、より適切に対応するため、既存の施策を総点検し、漏れがないよう体系的に整理したうえで取組みを推進



81	3,	取組	
		3, km 9,	0x0x 3, : 0x 81 x9
		9, m9, 0x= 9,) x9	9, 0x 81
		関連計画 新・大阪府防災アクションプラン1	

9, 0x 3, 9, 0x

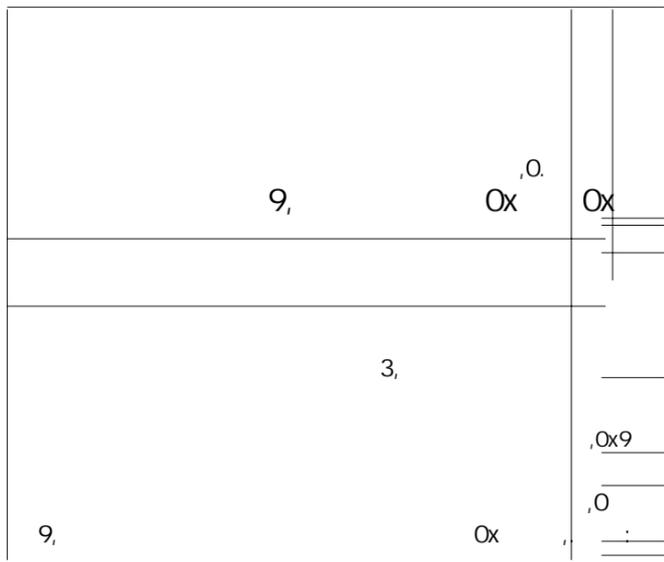
「起きてはならない最悪の事態」とそれらを回避するための具体的な取組み

		,0 ,0	
		,0	
		3,03,	
		81 ,0 ,0	
		9, 0x	
		,0	
		,0 3,	
	9, 0x	,0 ,0 ,0	
		,0	
		, ,0 ,0	
		- ,0	
		3-2	
		3 1	
		,0 (0x	81
		,0 ,0 ,0	
		,0 ,3,	
	9, 0x	,0 ,0	9, 0x : 9, 0x
		,0	
		5 4	
		,0 ,	
		,0 ,0	
		,053,-7	
		- ,081 9, 0x	
		6,0	
		3,6,0	
		,0 ,0	
		,06-5	
		,0	
		,0 ,	
)	,0 3,0	
		7-	
		,0 ,0	
		81,0 3,0	
		7,0,0 3,81	
		81 ,03, ,0	
		8- 81 3, 3, 81 81 9,	0x 81F 3,
		3,3,0	
		-4	
		8-5 広域地盤沈下等による広域・長期にわたる浸水被害の発生により復旧・復興が大幅に遅れる事態	

国際博覧会大阪誘致の検討

x9

これまでの取組み



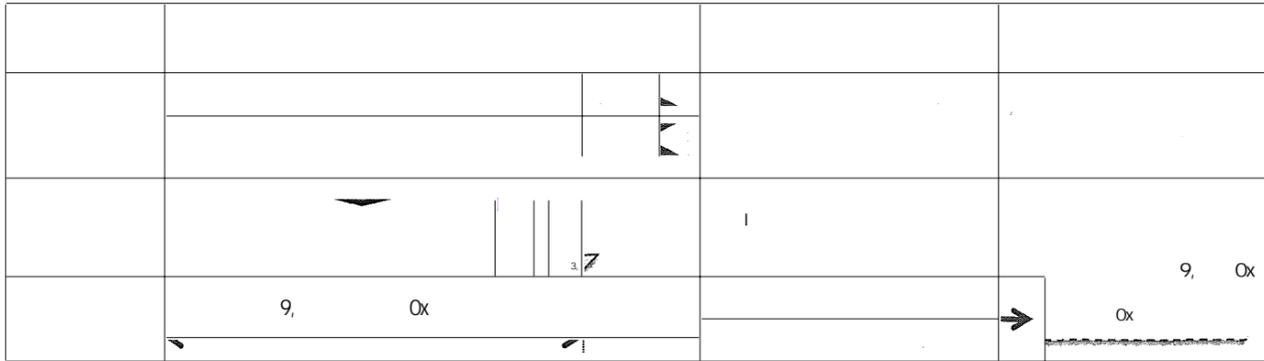
9, 0x 9, 0x
x9 4, 4,

テーマ<案>

9, 0x 9, 0x
x9 4, x9 4,
»
x9 4, x9 4,
9, 0x 9, 0x 9,
x9 4, :[9, 0x

場所

9, 0x
9, 0x
9, 0x
9, 0x
9, 0x
9, 0x



国家戦略特区「家事支援外国人受入事業」について

1. 事業の概要

9, Ox

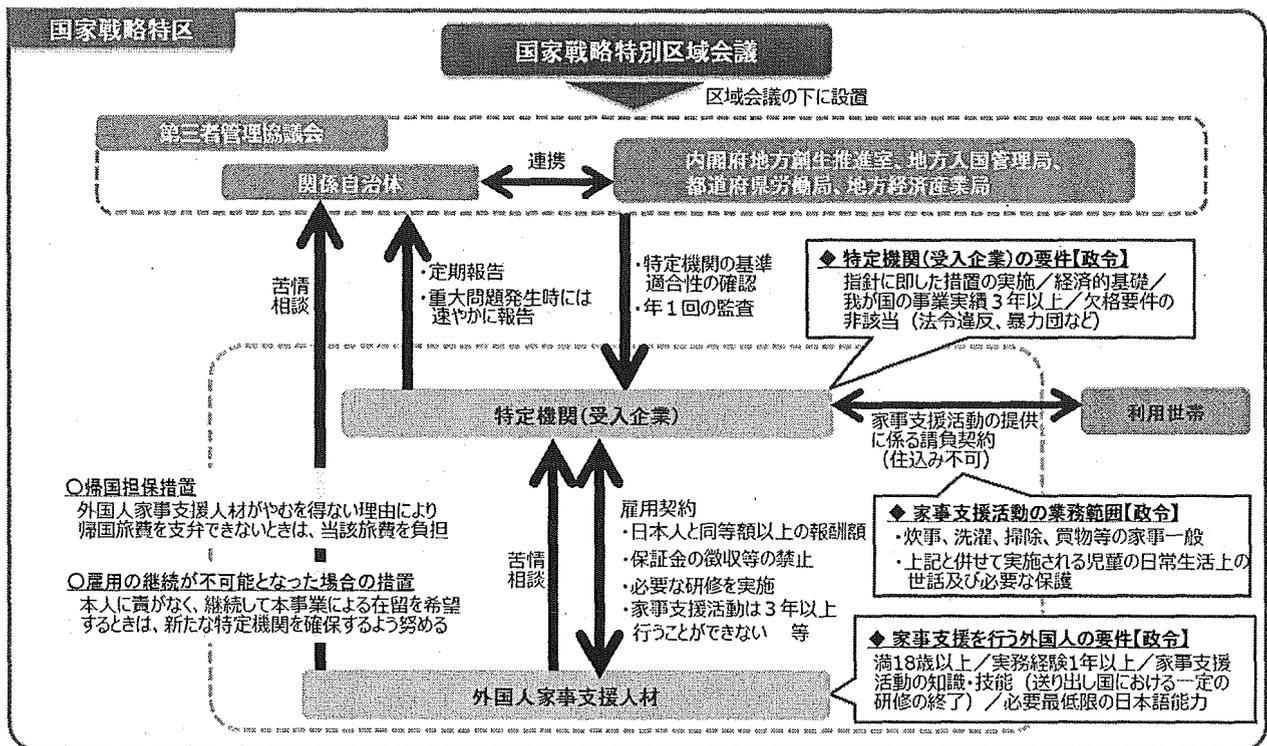
Ox

9,

3,

,0

3,



3,

3,

9,

Ox

副首都推進本部について

資料8

1 副首都推進本部の役割・機能（イメージ）

x9
"

9, Ox 9, Ox
9, Ox

9, 3, Ox

9,
9,

Ox
Ox

9, Ox3,

2 副首都推進本部会議の概要

9, Ox
9, Ox
9, Ox Ox

3 今後の予定等

3, 3,

81

9,

Ox

3,

災害から命を守り・つなぐ 《新・大阪府地震防災アクションプラン》

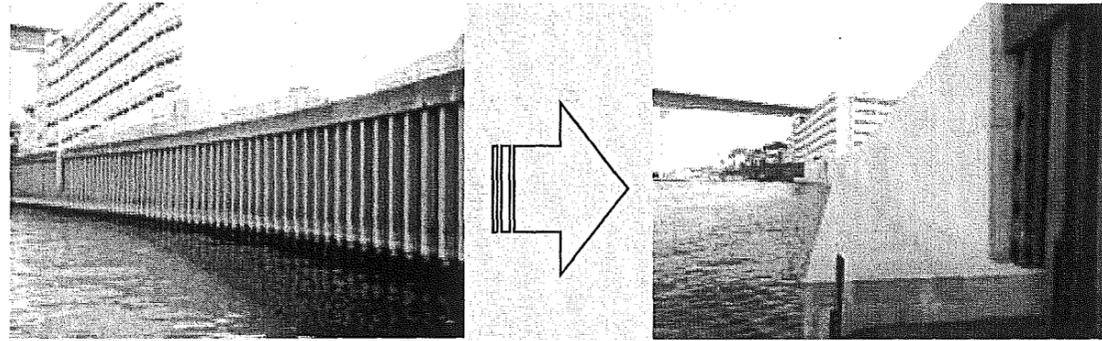
《進捗管理の例》

0

9,i)i
» 3, x99, 3, 3, 0 Ox
9, 9, Ox
9, Ox

81 3, ,
81 Ox
9, 81 Ox Ox

	,0	
3,		3,



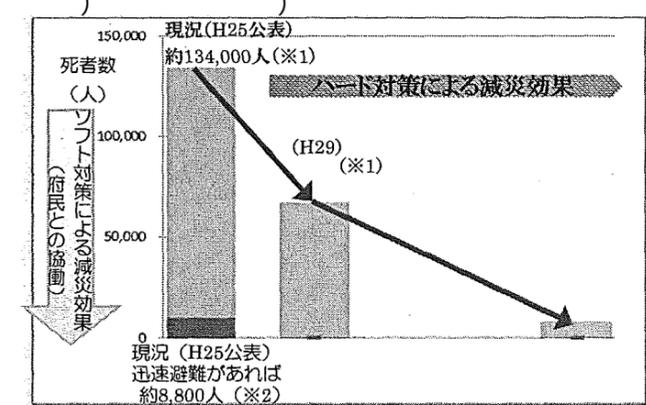
81 Ox

9, Ox



81 Ox

9,=i Ox
» 9, Ox (2)
(2 0)



9, Ox

3,3, .0 9, 81 Ox 3,3, .0 81 Ox Ox 3, 81 Ox Ox 0,3,

PR用映像

災害から命を守り・つなぐ
 ≪南海トラフ巨大地震等への対策≫

»
 »

” ” ”

備蓄方針のポイント

9,

0x

9,

0x

81

大阪府が追加で分担すべき物資量

府想定災害；南海トラフ巨大地震 避難所避難者数；880,942人

		9, 0x	
9, 0x	9, x9 0x		9, 0x
9, 0x			
9, 0x			
x9 x90			

9, 0x

9, 0x

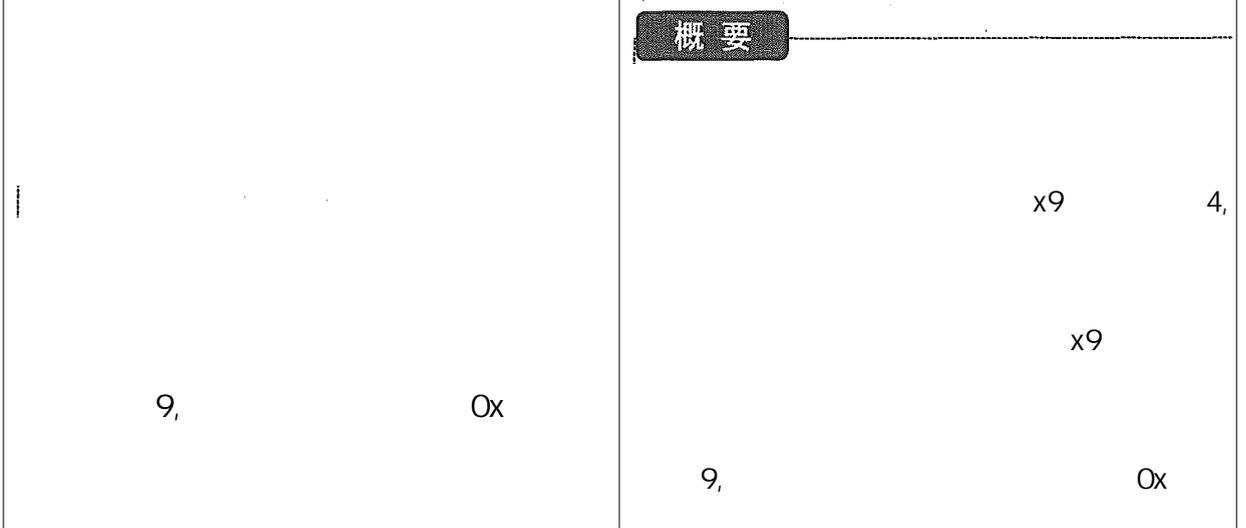


			<3	4,	0x
	9,	,0	0x	0x	
x9	4,	9,	,0	0x	0x

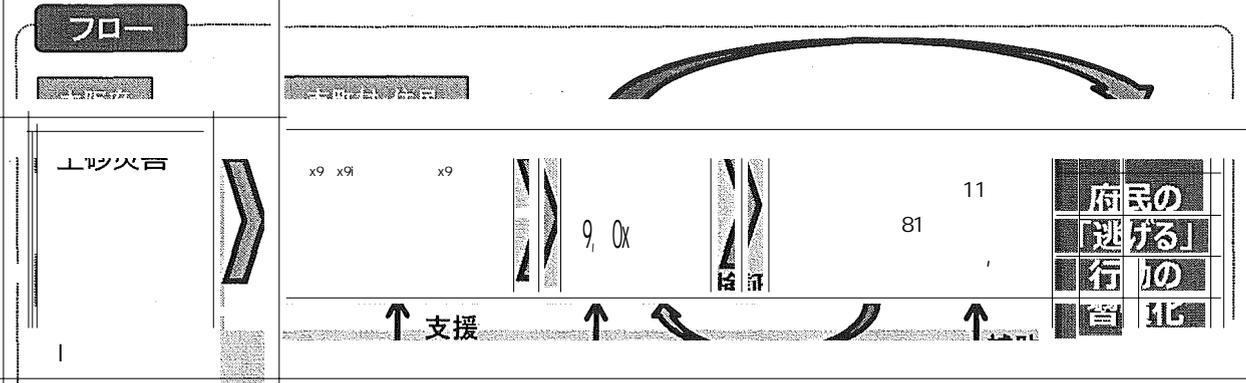
資料9-2

災害から命を守り・つなぐ 《土砂災害避難対策》

概要



フロー



818181

81

9, 0x 0x
81 ...

9, 0x 0x
x9 H28 00 9,)
1/28181

1/2818181

H28.1.26現在

大阪府人口ビジョン（案）

～ 人口減少・超高齢社会における持続的な発展をめざして ～

平成28年2月
大阪府

目次

1. はじめに	3
2. 大阪府の人口の潮流	6
(1) 総人口	7
(2) 自然増減	13
(3) 社会増減	20
(4) 地域別の人口の推移	32
(5) 昼間・交流人口	35
3. 人口減少・超高齢社会の影響	42
(1) 府民生活	43
(2) 経済・雇用	55
(3) 都市・まちづくり	64
4. 人口の将来見通し・基本的な視点・取組みの方向性	69
【参考】大阪府の将来人口の推計方法について	74

|

0x8181 81

3,

9,

0x

9,

0x

0x

9,

0x

,
0x

3,

9, 3, 0

9,

9,

0x

0x

9, 3, 9,

3,

9,

0x81 3,

0x0x

0x

3, 0x

1. はじめに

- 国の長期ビジョンでは、今後の基本的視点として、
 - ① 「東京一極集中」の是正
 - ② 若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
 - ③ 地域の特性に即した地域課題の解決を掲げ、取組みを進めることで、将来的に人口構造そのものを変えとともに、今後数十年間は人口減少が避けられないことから、人口減少社会に対応した効率的かつ効果的な社会システムを再構築することが重要としています。
- 大阪府においても、国の長期ビジョンや人口減少社会白書をベースに、一定の条件の下で人口の将来展望を見通し、それを踏まえて着実に取組みを進めていくことが求められています。
- このビジョンでは、2015（H27）年から2040（H52）年を見通しています。

2. 大阪府の人口の潮流

9, 0x

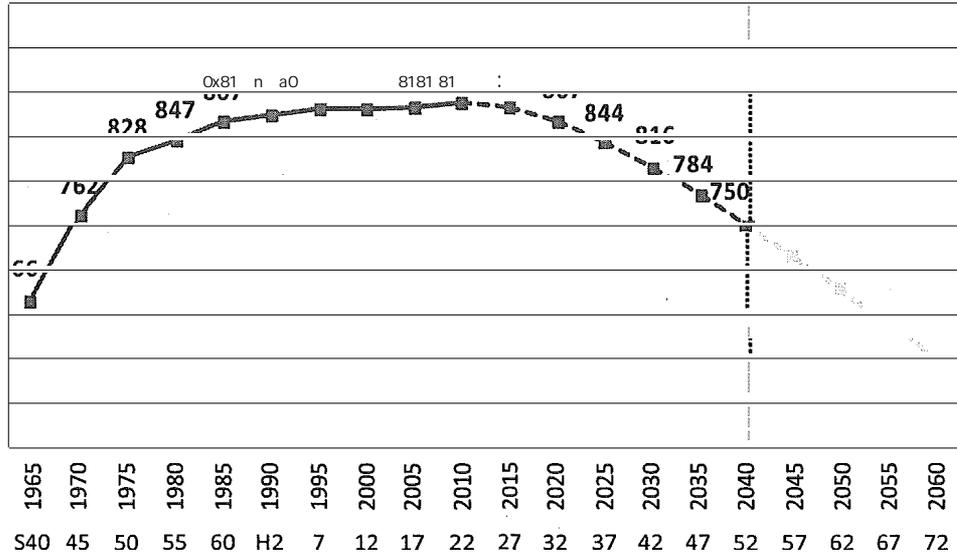
9, 0x

9, 0x

9, 1 0x

9, 0x

9, 0x



81 0 9

3

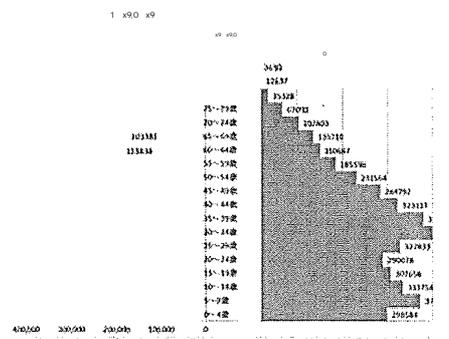
9, 3, 0x

9, 0x

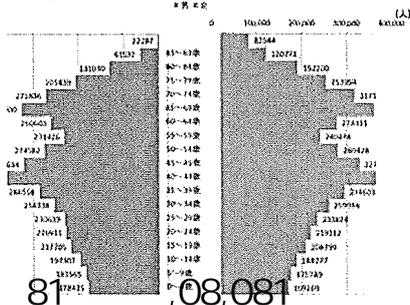
7

9, 0x

9, 0x



[2015年]



81, 08, 081

9, 0x 3

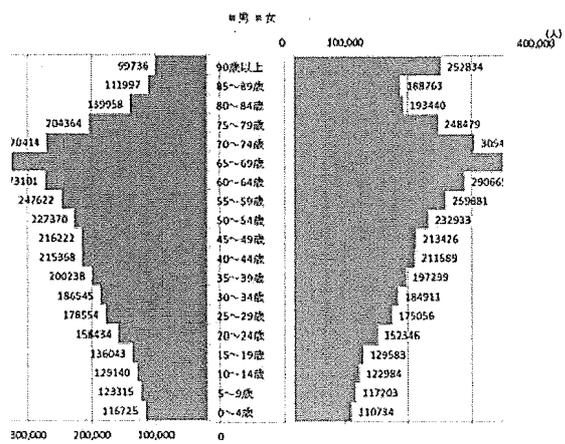
81

9, 0x

9, 0x

t f

大阪府2040年人口ピラミッド



9, 0x 3

81

9, 0x

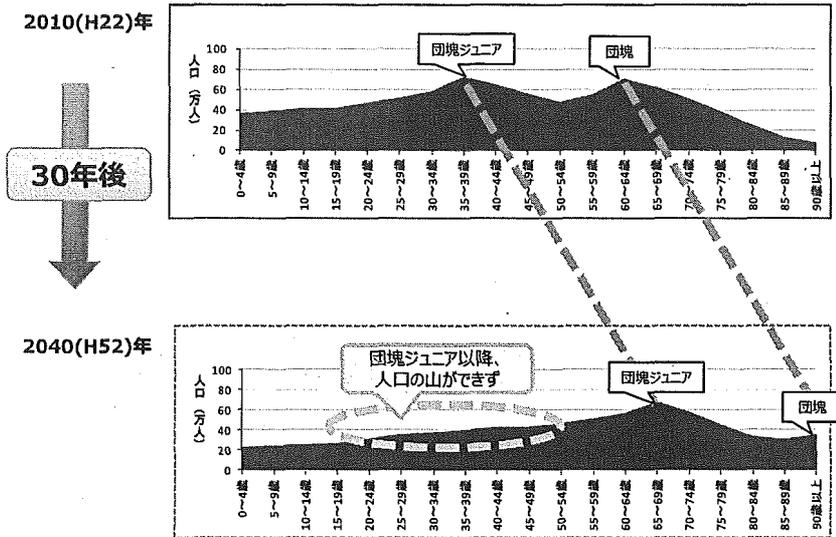
9, 0x

t f

2. 大阪府の人口の潮流

(1) 総人口 ■ 人口構成の変化①

- 1950年代半ば（S30年代）以降に大阪府に大量に流入してきた「団塊世代」と、その子どもたちである「団塊ジュニア世代」の人口が多く、これらの2つの世代が順に高齢化していく一方、「団塊ジュニア世代」が出産年齢を迎えた時期に、出生率が低下したこともあいまって、“人口の波”が訪れず、今後全体として緩やかに減少していくことが予測されます。

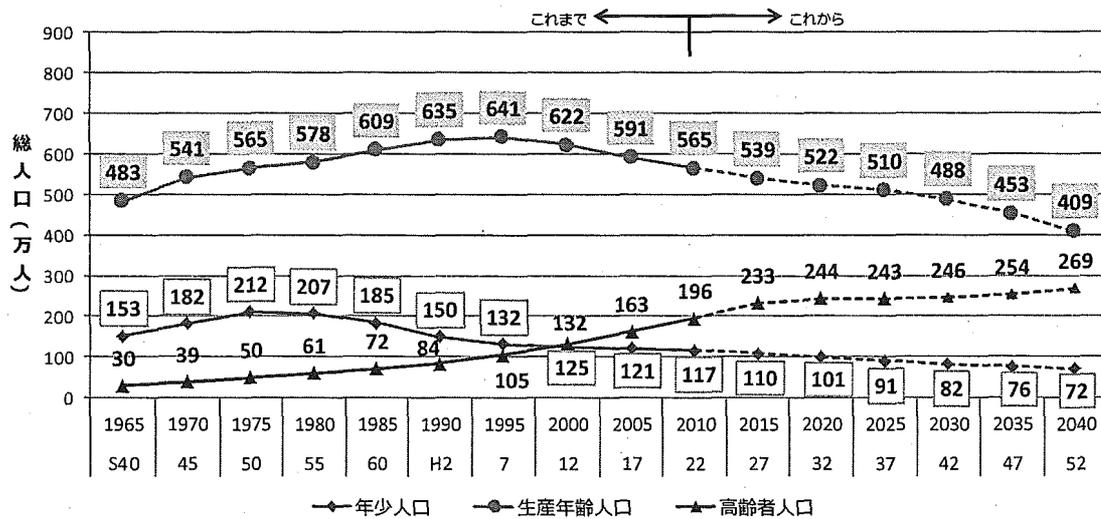


出典：2010(H22)年までは総務省「国勢調査」（年齢不詳を除く）、将来推計については、「大阪府の将来推計人口の点検について」（H26.3）における大阪府の人口推計（ケース2）を基に、府試算。

2. 大阪府の人口の潮流

(1) 総人口 ■ 人口構成の変化②

- 高齢者人口は年々増加し、2010(H22)年では196万人だったのが、2040(H52)年には269万人になると見込まれます。一方、生産年齢人口は大きく減少し、2010(H22)年の565万人から156万人減少し、2040(H52)年には409万人、年少人口も117万人から72万人にまで減少すると予測されます。

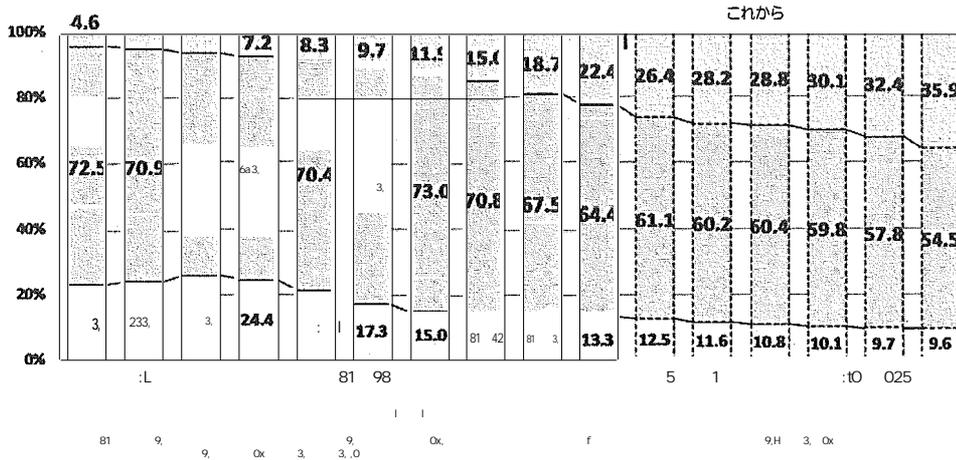


出典：2010(H22)年までは総務省「国勢調査」、将来推計については、大阪府「大阪府の将来推計人口の点検について」（H26.3）における大阪府の人口推計（ケース2）を基に、府試算。

* 年少人口：0歳～14歳 生産年齢人口：生産活動の中心となる15歳～64歳 高齢者人口：65歳以上

3,
9, 0x

9, 0x 9, 0x 3, 0x
9, 0x 3, 0x 3, 0x



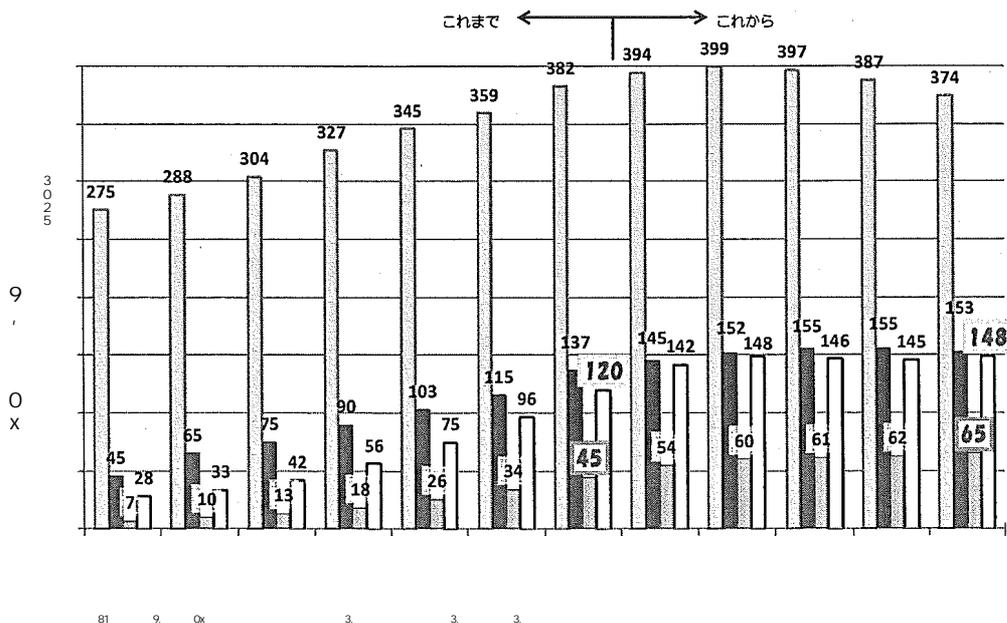
高齢者 1 人を支える現役世代は、
2010(H22)年では、2.88人ですが、
2040(H52)年では、1.52人になってしまいます。

2010(H22)年 → 2040(H52)年

11

3,
9, 0x

9, 0x 9, 0x 9, :70x
9, 0x 9, 0x



12

9, 0x

9, 0x

9, 0x

9, 0x

9, 0x

9, 0x

3,

9, 0x

0x

9, 0x

← これまで → これから

17 戦後のピーク!

1970(S45)の約3倍に増加

9, 0x



9, 0x

死亡数

5

0

0x 9, 14, 0x

5

81 0 .0 9,0 x9 x9

0x

13

9, 0x

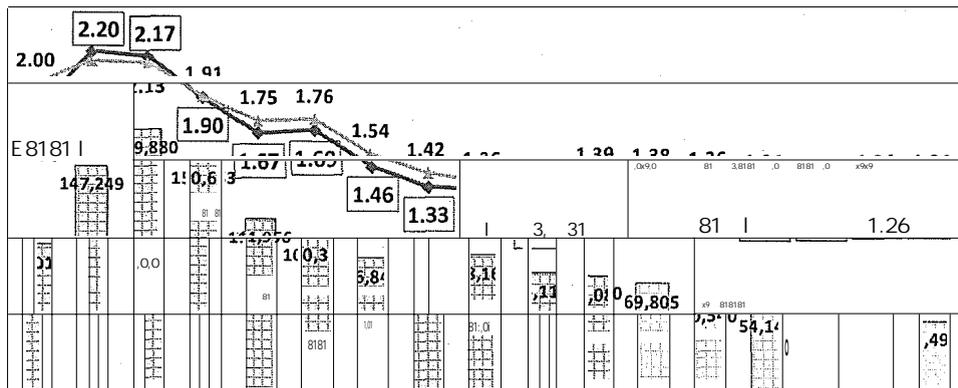
9,

9,

9, 0x81 3, 0x0x

82

9, 0x



合計特殊出生率

9, 0x 9, 0x

9, 0x

81 9, 0x 9, 3, 0x

x98 9, 0x t

9, 3, 0x

if

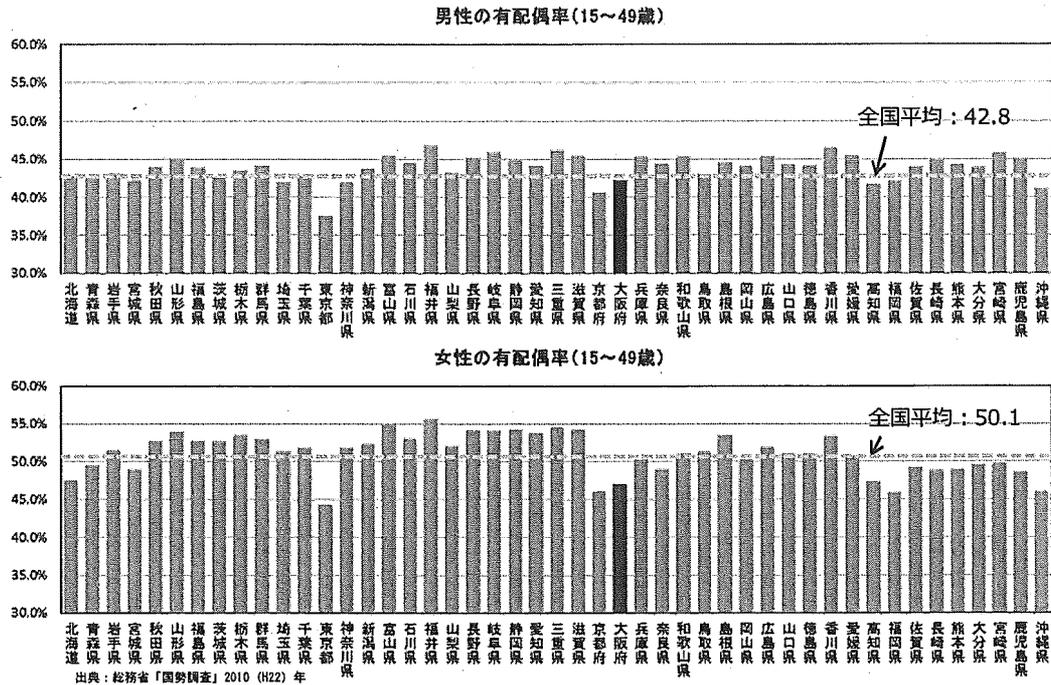
8181

2. 大阪府の人口の潮流

(2) 自然増減 ■ 有配偶率の全国比較

- 出生率が低い水準で推移している理由について、以下のような要因が考えられます。
- まず、男女別の有配偶率（15歳～49歳）を全国と比較すると、大阪府は男性42.3%とほぼ平均の水準となっている一方で、女性は47.1%と平均を大きく下回っています。

※ 有配偶率は離婚・死別等のため、配偶者が不在の場合はカウントされません。

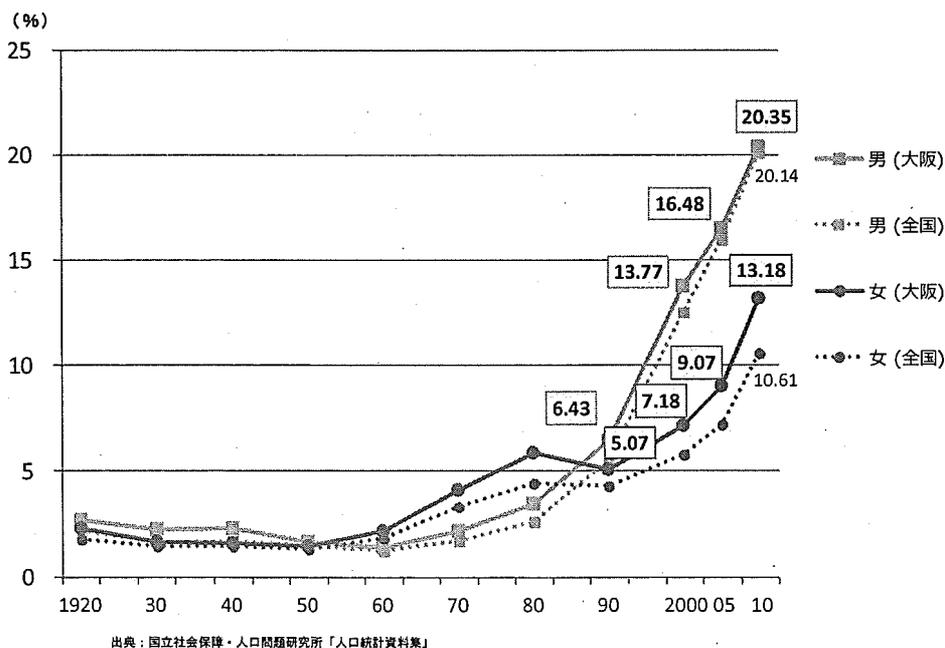


15

2. 大阪府の人口の潮流

(2) 自然増減 ■ 生涯未婚率の年次推移

- 次に、生涯未婚率については、男性・女性ともに全国平均を上回る高さで推移しています。
- また、特に近年、全国・大阪府ともに高くなる傾向にあります。

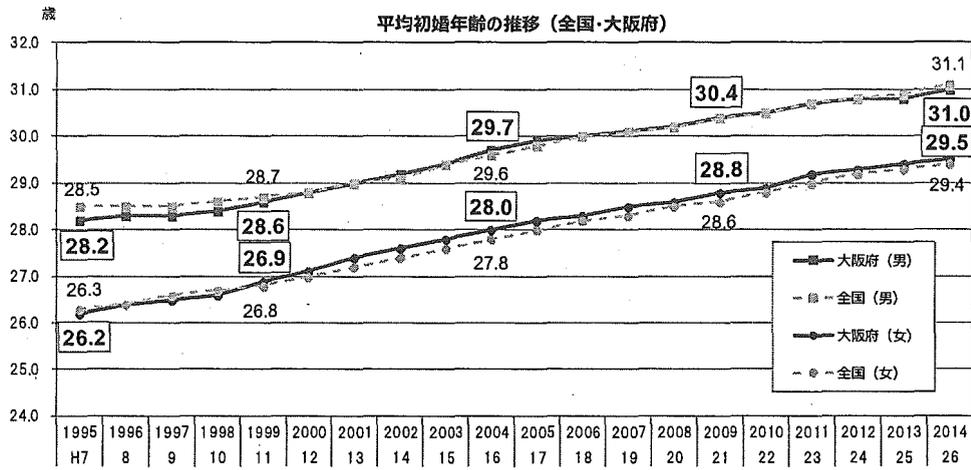


16

2. 大阪府の人口の潮流

(2) 自然増減 ■ 平均初婚年齢の推移

- 平均初婚年齢は年々高くなっており、2014（H26）年には男性は31.0歳、女性は29.5歳まで上昇しています。

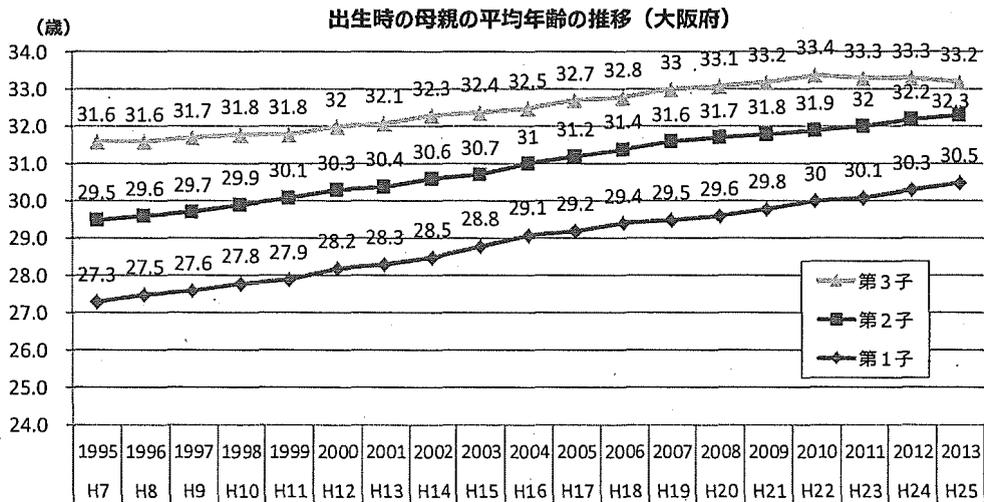


出典：厚生労働省「人口動態統計」（※2014年については概数）

2. 大阪府の人口の潮流

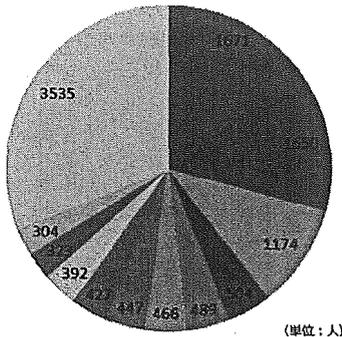
(2) 自然増減 ■ 出生時の母親の平均年齢の推移

- 出生時の母親の平均年齢についても、特に第1子出生時の年齢は上昇を続けており、いわゆる晩産化の傾向が進行しています。



出典：厚生労働省「人口動態統計」

3,
9, 0x
9, 0x



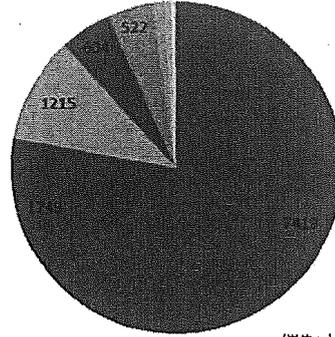
- 和歌山県
- 京都府
- 兵庫県
- 広島県
- 愛媛県
- 岡山県
- 三重県
- 山口県
- 香川県
- 奈良県
- 石川県
- その他

(単位:人)

81 9 0x 0x

9, 0x

0x



- 東京都
- 神奈川県
- 千葉県
- 愛知県
- 埼玉県
- 沖縄県
- 茨城県
- 福島県
- 栃木県
- 秋田県
- 山梨県

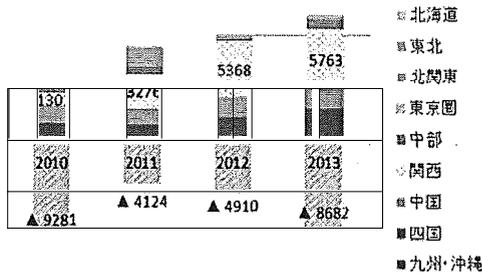
(単位:人)

3,
9, 0x

9, 0x

9, 0x

3,



- 北海道
- 東北
- 北関東
- 東京圏
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州・沖縄

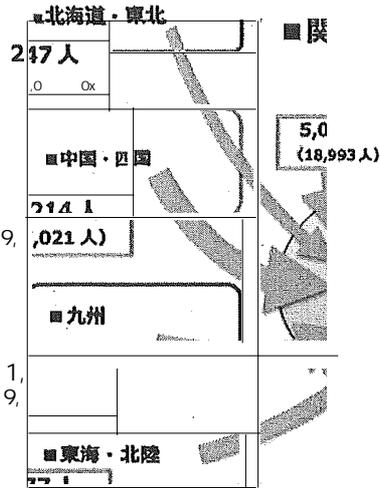
81 9 0x

)8181 x9x9x9x98181 x9 x9

- 北海道
- 東北
- 北関東
- 中部
- 関西
- 中国
- 四国
- 九州・沖縄

3,
9, 0x

9, 0x



9, 0x 3, 9, 0, 4 0x
▲10,905人

9, 0x 3, 9, 3, 0x

▲10,870人
(▲36,792人)

※上段：直近1年の転入超過数
 (2014)
 (下段)：過去5年累計の転入超過数
 (2010-2014)

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」
 ※外国人を含んでいない。

3,
9, 0x

9, 0x

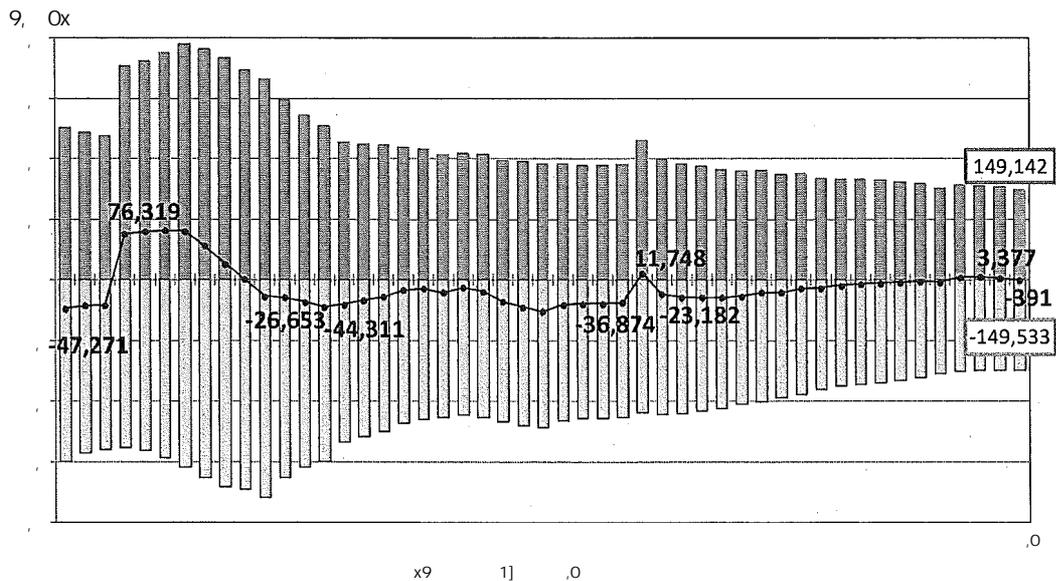
9, 0x

9, 0x

9, 0x

9, 0x

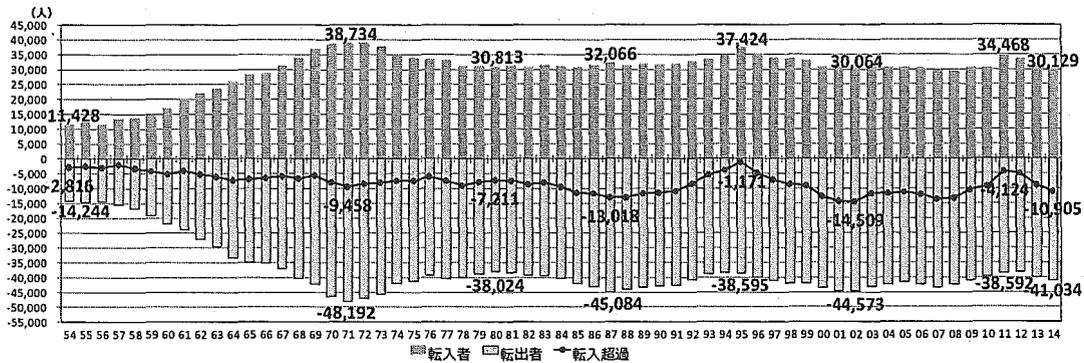
3,
9, 0x



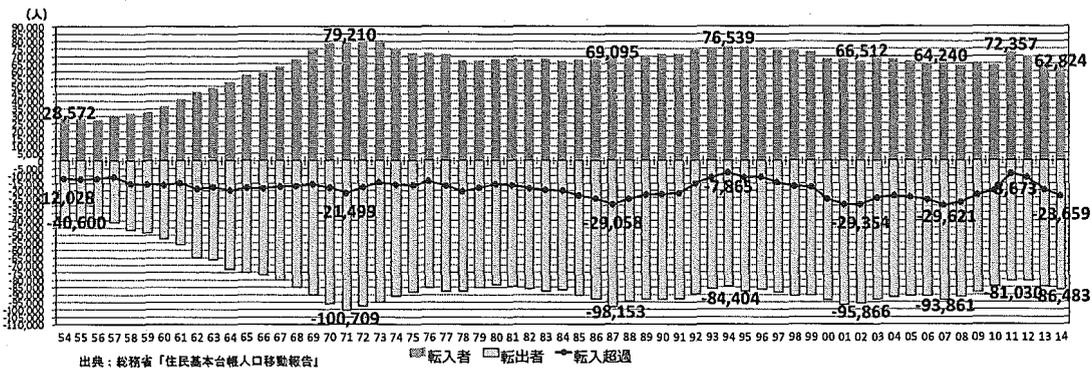
2. 大阪府の人口の潮流

(3) 社会増減 ■【参考】対東京圏への転出入状況の推移

■ 大阪府 - 対東京圏の転出入状況 (1954年~2014年)



■ 関西圏 - 対東京圏の転出入状況 (1954年~2014年)



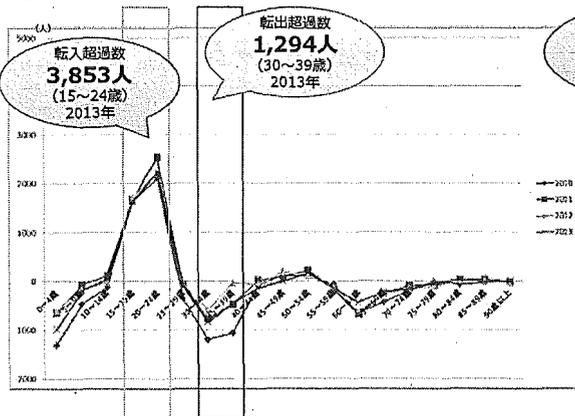
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

2. 大阪府の人口の潮流

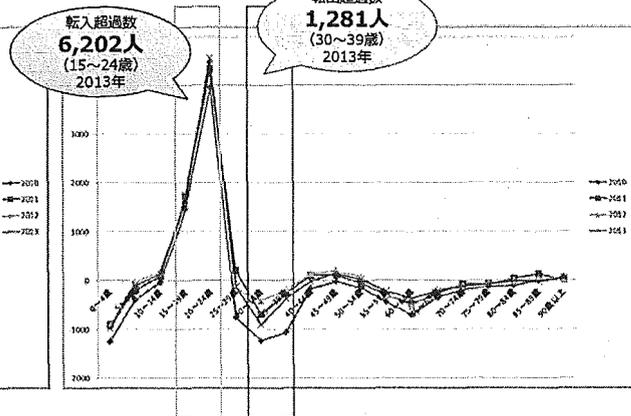
(3) 社会増減 ■大阪府の年齢階層別転出入超過数

- 年代別にみると、男性・女性とも、15~24歳は転入超過に対し、他の年代はおおむね転出超過の傾向で、特に30~39歳の転出超過数が多くなっており、中堅世代の人口転出が顕著になっています。
- また、15~24歳では、女性は男性の2倍程度転入しています。

【大阪府：男性】



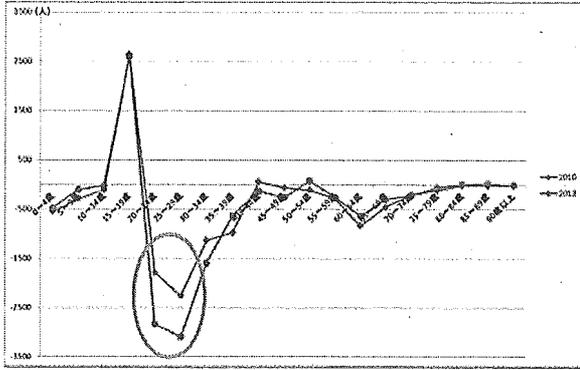
【大阪府：女性】



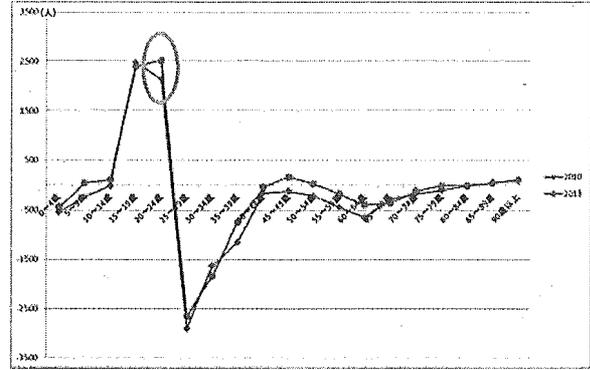
出典：地域経済分析システム (RESAS)

3,
9, 0x

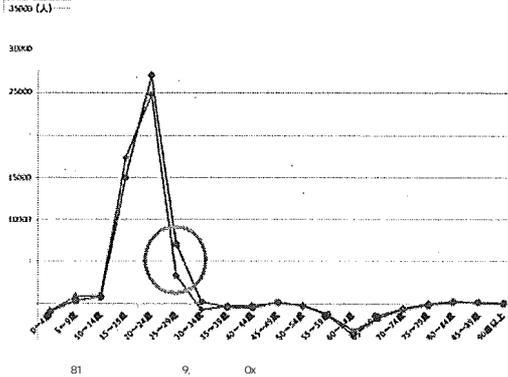
81



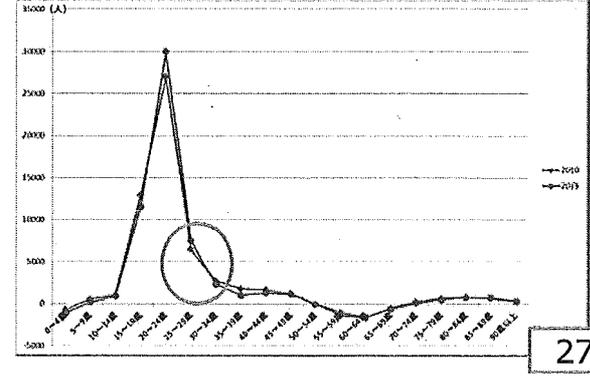
81



【東京圏】



【東京圏：女性】



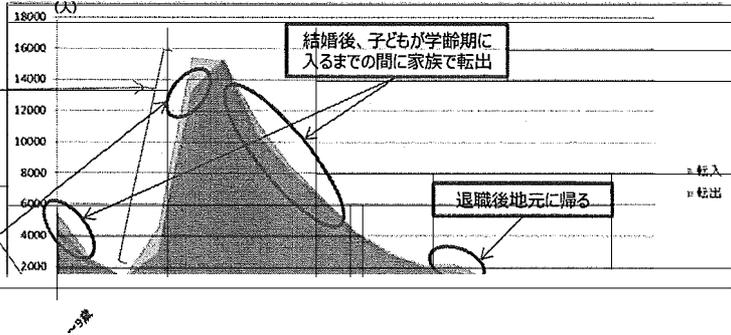
27

9, 0x

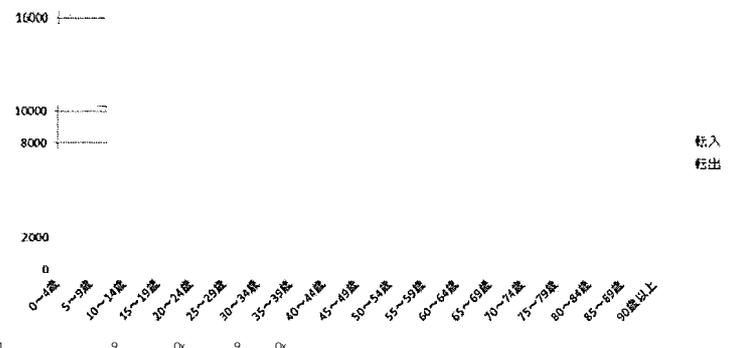
○ 年齢階層別の転出入状況をみると、進学・就職を機に大阪府に転入していることが伺えます。ただし、大学生新卒者が就職10年目頃となる30歳代において、異動・転職などにより家族で大阪府を離れて

【大阪府：男性】

進学・就職
女性は男性に比べて地元での就職傾向が強い



81



81 81

9, 0x

			0x	0x	0x	0x	0x	0x	0x	0x	0x	
		3					3	3	2,165	13		
	増減率	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1
		7						3	3			
	増減率	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
		3	3		3	3	3	3	3	3	3	3
	増減率	3	3		3	3	3	3	3	3	3	3
近畿		116,968	3	3	3	3	3	3	29,473	3	3	3
		0.3	1				3	3	53	180		
	増減率	3	1.3	3	3	3	3	3	1.5	3	3	3
	0x	3			3	3	3	3	3	3	3	1,235
	0x	3	1		3	3					1	
	0x	3	3		3	3	3	3	3	3	3	▲ 9.6
81.3	転入・転出計	3	2,916	635	3	3	3	3	3	3	3	2,684
	0x	3			3	3	1					▲ 211
	0x	3	3		3	3	3	3	3	0.2	▲ 11.8	1.3
	転入・転出計	3	3	3	3	3	3	3	19,224	3	3	3
	0x	3	3	1		3	3	3	▲ 1,594			

単位：
転入・転出計=人
差分=人
増減率=%

60歳以上はすべての地域に流出超過

0x

5歳刻み

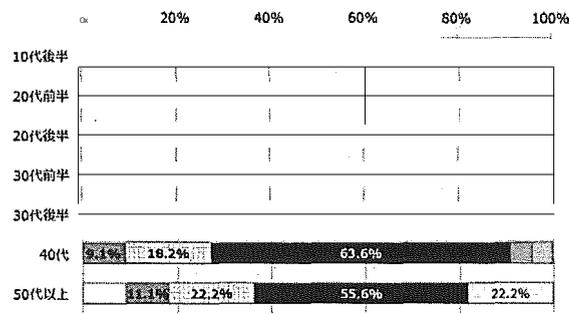
出典：住民基本台帳データ 2013 (H25) 年
注) 外国人を含む (2012 (H24) 7月～)

29

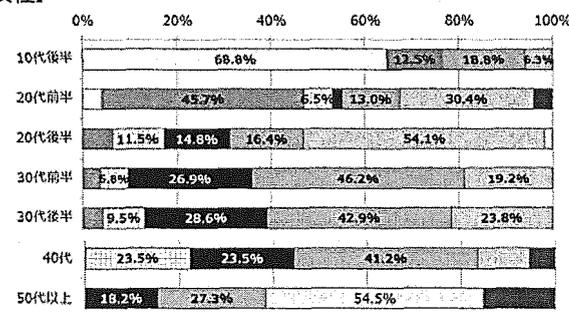
3,
9, 0x

9, 0x

81



【大阪府：女性】

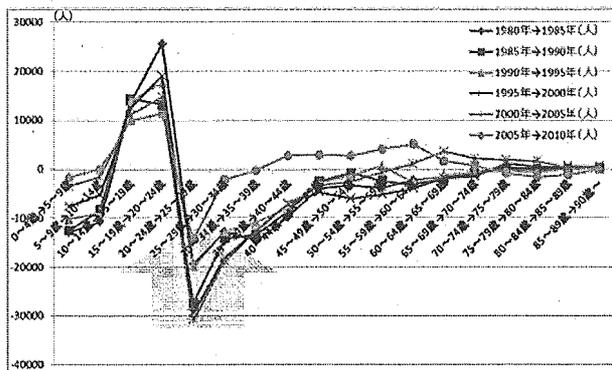


2. 大阪府の人口の潮流

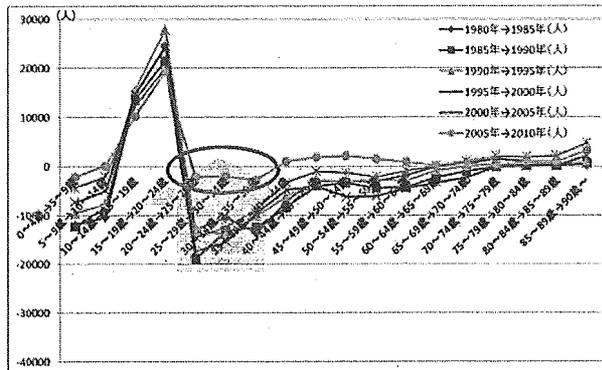
(3) 社会増減 ■大阪府の年齢階級別純移動数の時系列分析

- 大阪府の転入・転出移動数を時系列でみると、男性・女性とも、30歳代の人口転出が近年は改善傾向にあることがわかります。特に、女性については±0に近づいています。
- これは、30歳代の世帯での府外への転勤が減少していることや、単身赴任が増えていることに加え、初婚・出産年齢が遅くなっていることにより、その年代の転出が減っていることなど、複合的な要素があいまっているものと考えられます。

【大阪府：男性】



【大阪府：女性】

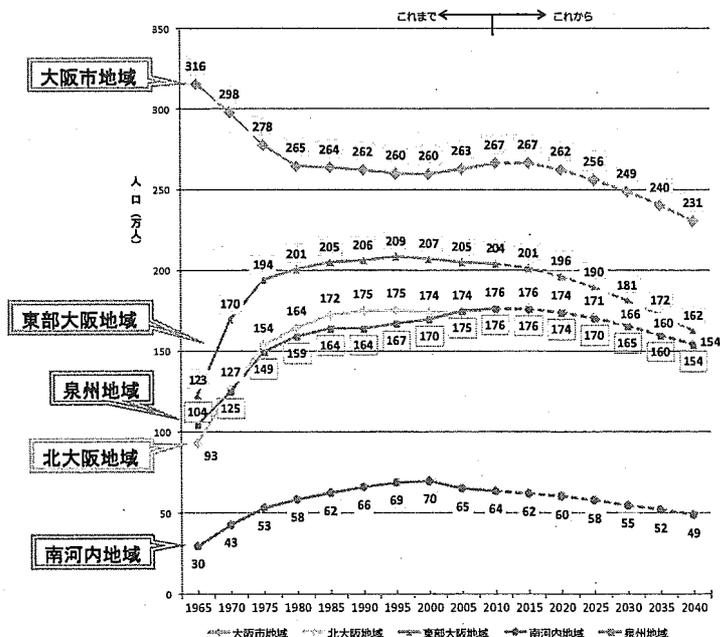


出典：地域経済分析システム (RESAS) より府作成

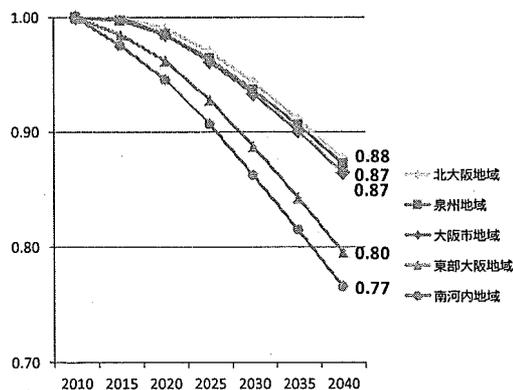
2. 大阪府の人口の潮流

(4) 地域別人口の推移

- 地域別の人口推移では、最も減少率が高いのは南河内地域で、30年後は2割半の減少が予測され、生産年齢人口は、約半数になると見込まれます。



◎ 地域別人口の減少率の将来推計 (2010 (H22) 年を1.0とした場合)



出典：2010 (H22) 年までは総務省「国勢調査」(年齢不詳を含む)。将来推計については、「大阪府の将来推計人口の点検について」(H26.3)における大阪府の人口推計(ケース2)を基に、府試算
 <参考> 大阪市地域：大阪市 北大阪地域：吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町
 東部大阪地域：守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市、八尾市、柏原市、東大阪市
 南河内地域：富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤坂村
 泉州地域：堺市、泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町
 ※ 松原市(1988 (H元)年) 東大阪地域⇨南河内地域、旧美原町域(2005年 (H17)年) 南河内地域⇨泉州地域

3,
9, 0x

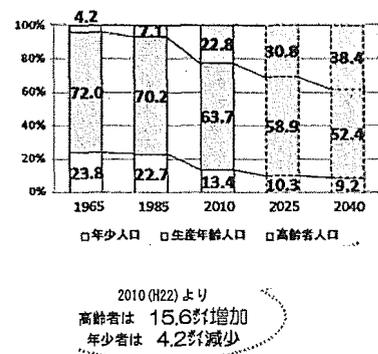
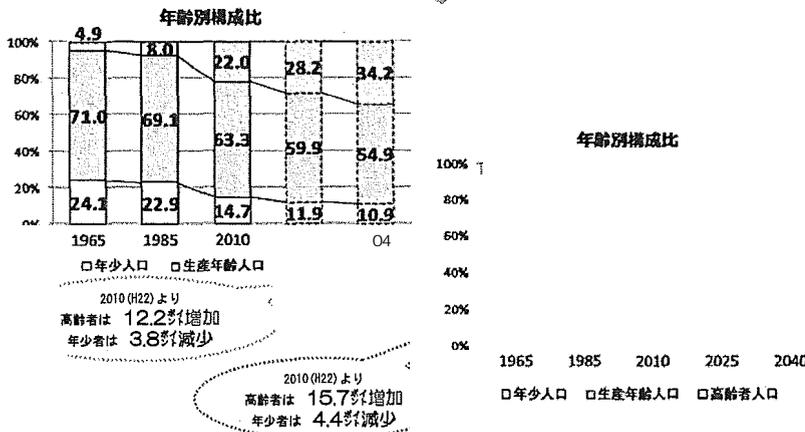
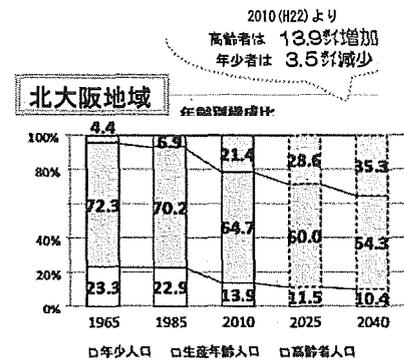
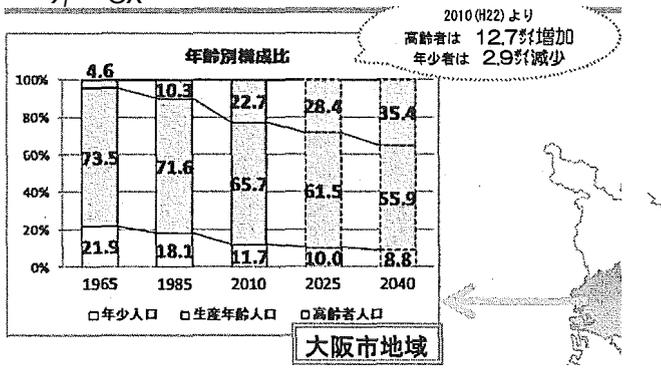
9, 0x
3, 0x 3, 0x

9, 0x

	9, 0x	2040(H22)年	
	23.0%	36.1%	
	22.4%	35.9%	
	22.7%	35.4%	
北大阪地域	21.4%	35.3%	
東部大阪地域	22.3%	38.4%	
南河内地域	23.5%	39.2%	
泉州地域	3.0%	34.2%	

81 9, 0x 3, 0x, 3, 0x, 9, 0x, 3, 0x, 9, 0x, 3, 0x

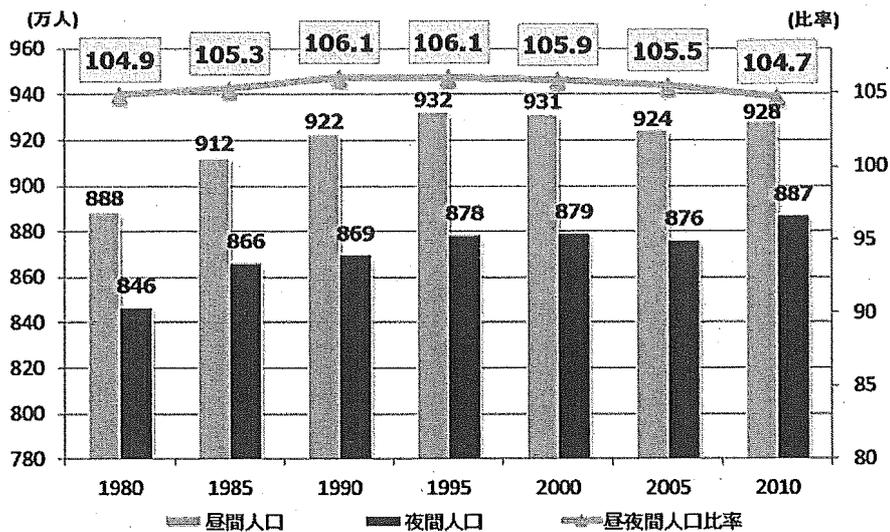
3,
9, 0x



2. 大阪府の人口の潮流

(5) 昼間・交流人口 ■ 昼間人口 (人口の推移)

- 大阪府の昼間人口については、1995(H7)年がピークとなっていますが、1980(S55)年以降おおむね横ばいの傾向を示しています。
- 近年、夜間人口が若干の増加傾向であったため、昼夜間人口比率は緩やかな低下傾向となっています。

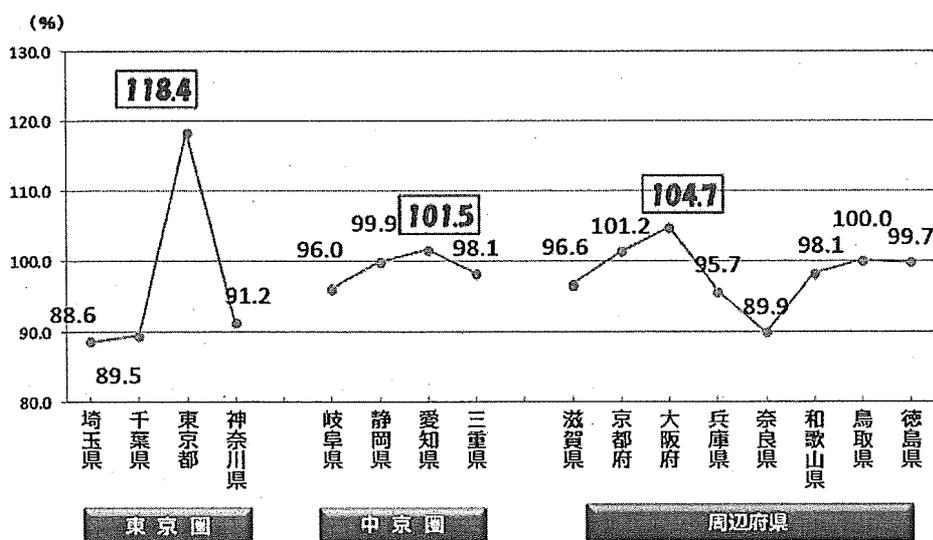


出典：総務省「国勢調査」2010(H22)年

2. 大阪府の人口の潮流

(5) 昼間・交流人口 ■ 昼間人口 (昼夜間人口比率)

- 2010(H22)年の昼夜間人口比率を見ると、東京都の118.4には及ばないものの、近畿圏では京都府とともに100%を超えており、周辺府県から流入していることが伺えます。



出典：総務省「国勢調査」2010(H22)年

3,
9, 0x

x9 4,9,

0x

9, 0x

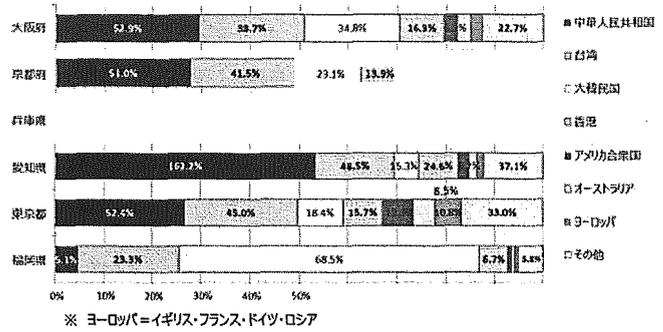
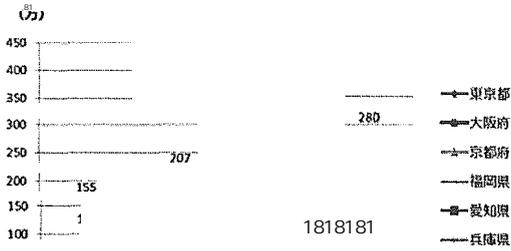
, 0x 9, 81 3, 0x0x

9,

0x

9,

1 0x



81

9,1E 0x

81

9, 0x

9, 0x

x9 4,9,

0x

x9

3,

9,x4

x4

0x

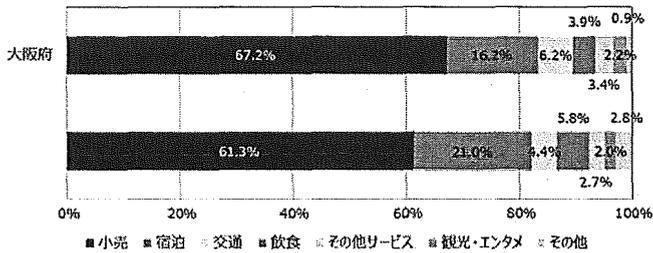
9,

0x

9,

0x

0x



出典：地域経済分析システム (RESAS) より府作成

出典：地域経済分析システム (RESAS) より府作成

3,
9, 0x

x9 4,9,

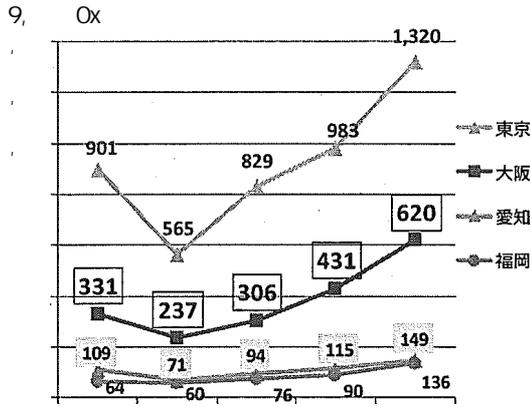
0x

9, 0x

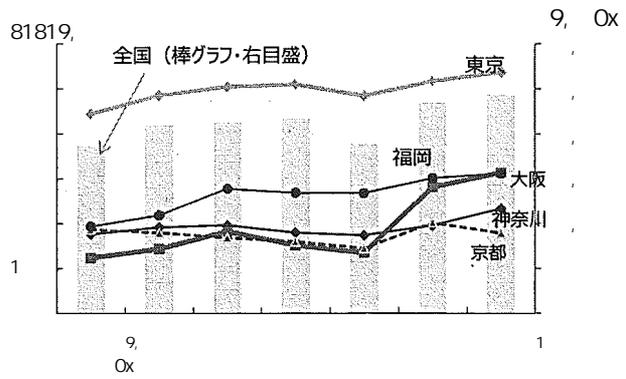
9, 0x

, 0x

9, 3,



81 r



81 9, 0x

8181

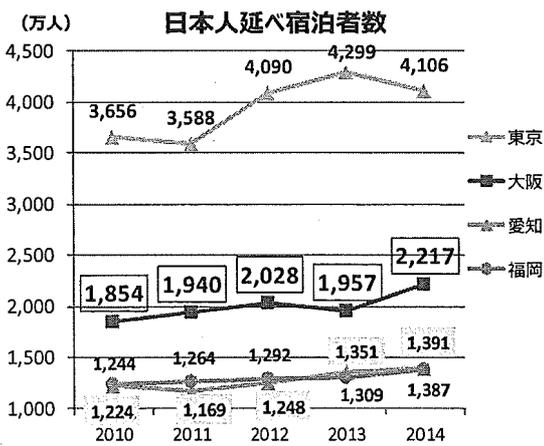
3,
9, 0x

x9 4,9,

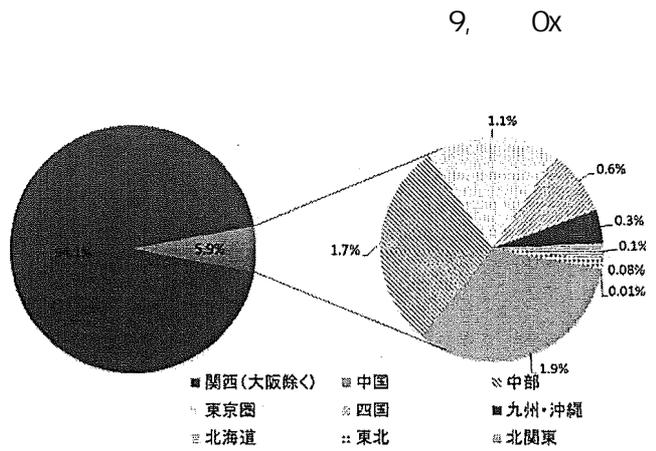
0x

, 0x

9, 0x



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より大阪府企画室作成



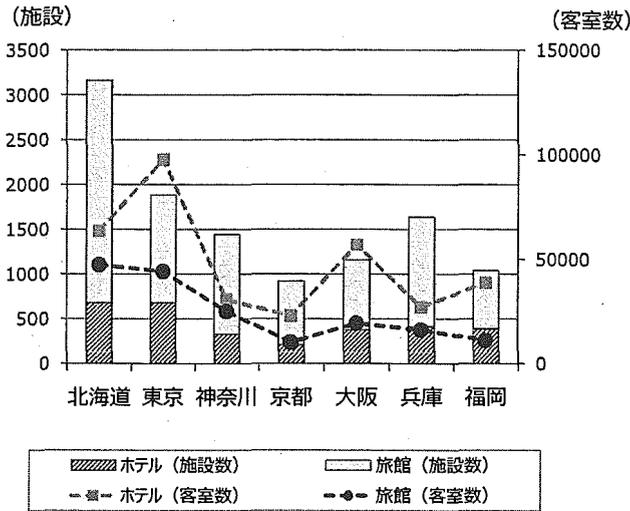
出典：地域経済分析システム (RESAS) 2014 (H26) 年より大阪府作成
滞在人口とは、市区町村単位で滞在時間が2時間以上の人口を表している。
※ 府内各市町村のデータを加算して作成しているため、重複している場合がある。

2. 大阪府の人口の潮流

(5) 昼間・交流人口 ■ 交流人口 (宿泊施設)

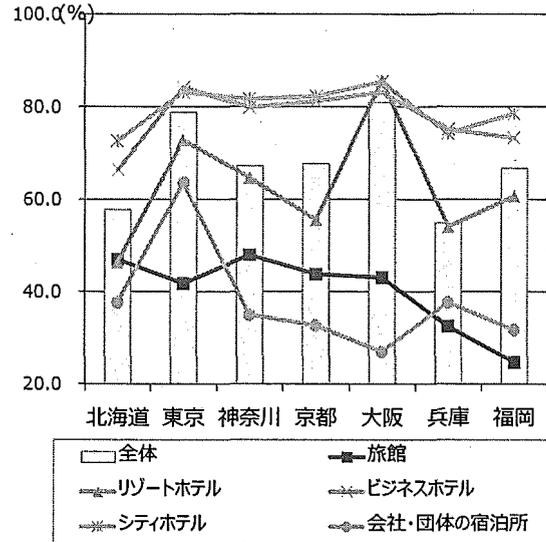
- 大阪府に届出のあるホテル・旅館数は1,157件、客室数は76,311室で全国第3位となっています。
2014 (H26) 年度の客室稼働率は81.0%(全国1位)と高水準となっています。

ホテル・旅館営業の施設数・客室数 (2013 (H25) 年)



出典：厚労省「衛生行政報告例」2013 (H25) 年

都道府県別、タイプ別客室稼働率 (2014 (H26) 年)



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」2014 (H26) 年
※ 従業員数10人以下の施設については抽出調査

9, 0x

9,

0x

α

3,
3,

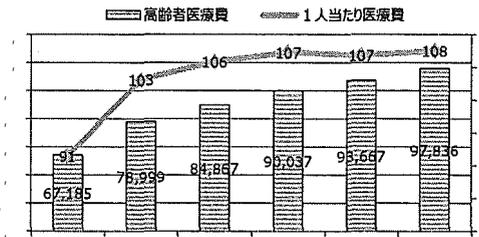
1

eccO

1

社会福祉費 老人福祉費 児童福祉費 生活保護費
出典：大阪府「財政ノート」

高齢



81

3,
9, 0x

9,

0x

一般世帯数に占める高齢世帯及び高齢単独世

0x 9, 0x
0x 9, 0x
0x 0x 9, 0x

0x

x9

0x

0x

0x

0x

0x

81

9,

0x

3,

3,

9,

0x

3,

,

9,

0x

0x

,

0x

0x

0x

0x

x9, 0x9

0x0x

H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25

出典：出典：H23までは厚生労働省「福祉行政報告例」
H24とH25は厚生労働省「被保護者調査」（注）世帯数は月次報告の累計

3,
9, 0x

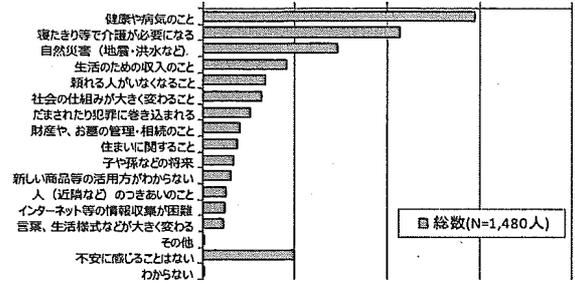
9,

0x

,0

9,0x0x

9, 0x



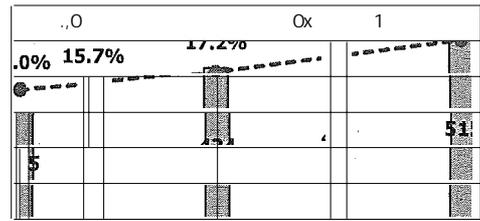
3, 0x0x

9,

9,

0x

認知症高齢者数



3,
9, 0x

9,

0x

		0x	0x0x	1.8
	0x	0x	0	

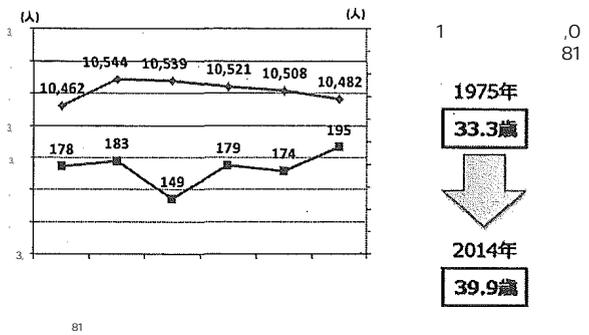
0x	/	/	/	/
----	---	---	---	---

3,
9, 0x

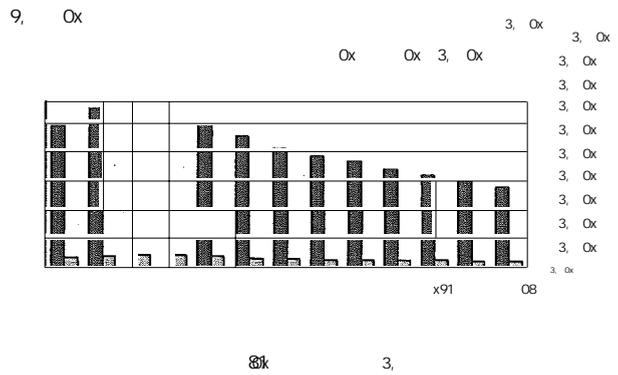
9,

0x

消防員数及び女性消防員数の推移(大阪府、平均年齢の推移(全国))



高齢者の刑法犯被害認知件数



3,
9, 0x

9,

0x

Year	認知件数	認知率
1991	1,000	0.03
1992	950	0.03
1993	900	0.03
1994	850	0.03
1995	800	0.03
1996	750	0.03
1997	700	0.03
1998	650	0.03
1999	600	0.03
2000	550	0.03
2001	500	0.03
2002	450	0.03
2003	400	0.03
2004	350	0.03
2005	300	0.03
2006	250	0.03
2007	200	0.03
2008	150	0.03

9, 0x

出典

Year	認知件数	認知率
1991	1,000	0.03
1992	950	0.03
1993	900	0.03
1994	850	0.03
1995	800	0.03
1996	750	0.03
1997	700	0.03
1998	650	0.03
1999	600	0.03
2000	550	0.03
2001	500	0.03
2002	450	0.03
2003	400	0.03
2004	350	0.03
2005	300	0.03
2006	250	0.03
2007	200	0.03
2008	150	0.03

3,

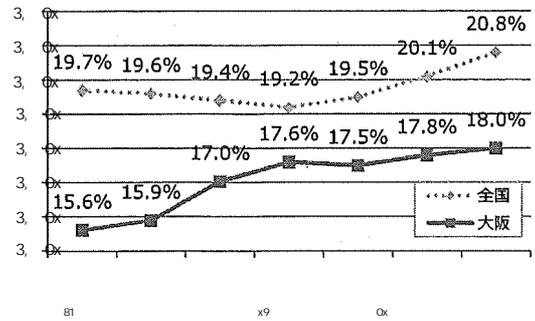
3,

9, 0x

3,

9,

0x



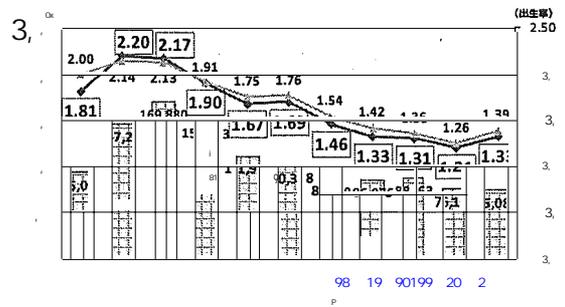
51

3,
9, 0x

x9 4,

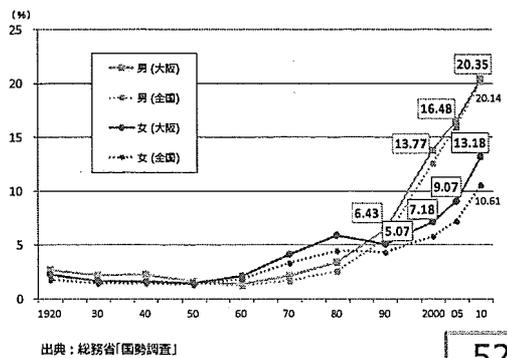
9, 0x
9,

x9 3, 0x



出典：厚生労働省「人口動態統計」、総務省「国勢調査」

x9 4,

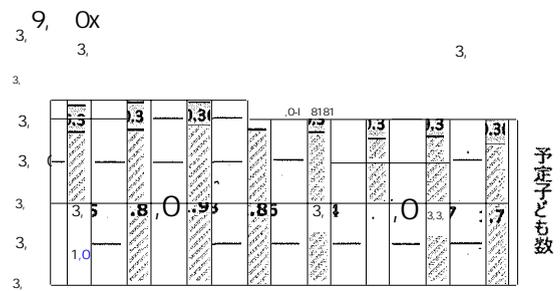


出典：総務省「国勢調査」

52

3,
9, 0x

9, 9, 0x 0x 9, 0x
3,
9, 0x
9, 0x
x9

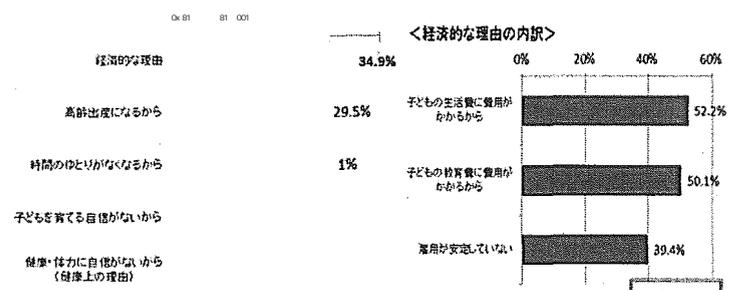


x98181

[=

81

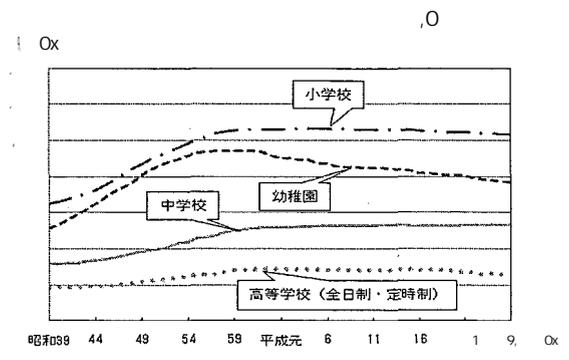
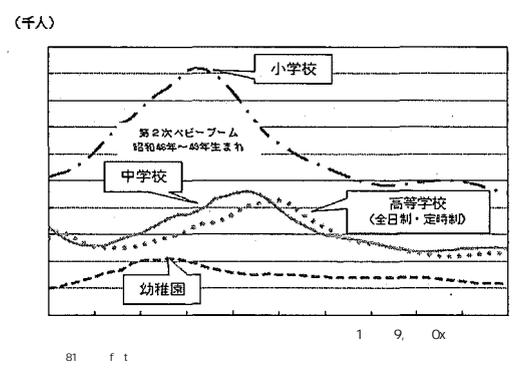
819, 0x, (0x



出典：大阪府「婚活・子育て応援事業報告書」（2015）より企画室作成

53

3,
9, 0x



出典：大阪府「平成26年度大阪の学校統計」

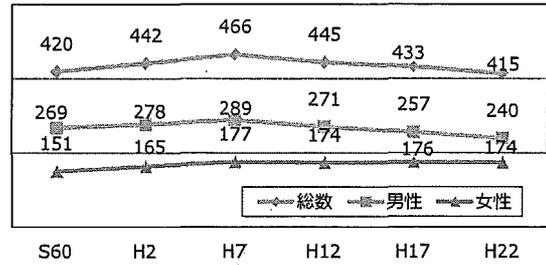
81

9, 0x

813,3,0,

81 ,03,,

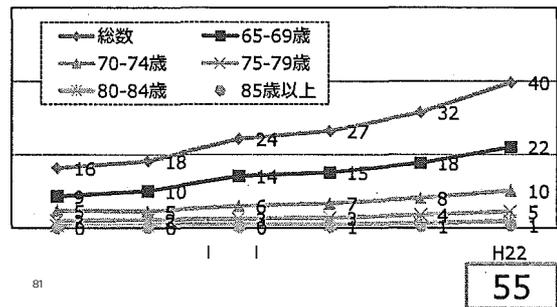
9, 0x



出典：総務省「国勢調査」

高齢者の労働力人口の推移【大阪府】

(万人)



H22 55

x4
x4

81
81

0x
9,

0x

9,
0x

9, 0x

万人



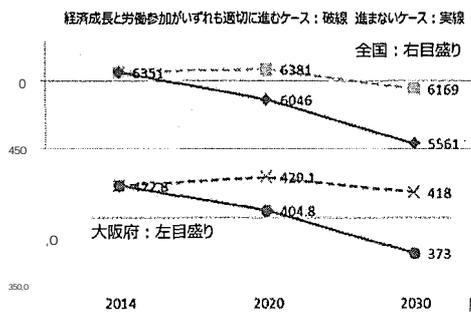
9, 0x
9, 9, 0x 0x
3, 9, 0x 0x 3,

2014 2020 2030

出典：総務省「労働力調査」を基に厚生労働省試算

就業者数の推移【大阪府】

万人

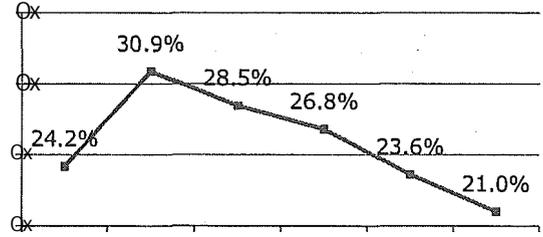


出典：総務省「労働力調査」を基に厚生労働省試算

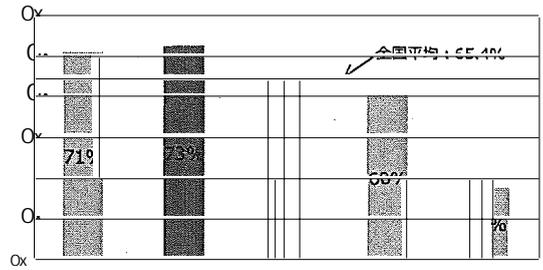
4000 56

9, 0x

,3,9,1 0x



81 x4 (0x

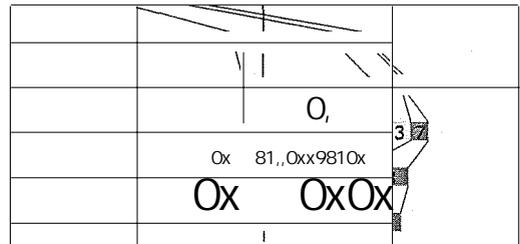


和歌山県 57

9, 0x

00億円以上の企業の本社数

0x 81 ,0 0x 81



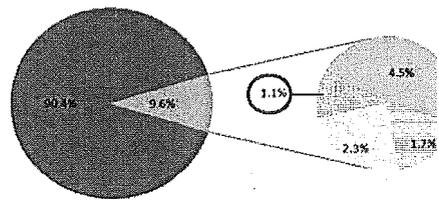
81 9, 0x

9, 0x

0x 9,

9, 0x 9, 0x

3, 0x



■ 転載予定なし □ 大阪市内 ○ 大阪府内(大阪府外) △ 大阪府外 ※ 未定 出典：大阪府国土利用計画等の策定のためのアンケート調査(2015)

3,
9, 0x

9, 0x

9,0x

0x

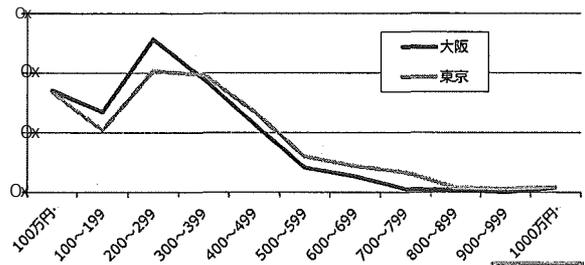
9,

0x

所得階層別世帯数割合の

世帯	年齢	所得階層別世帯数割合 (%)			
		1000万円以上	500~999万円	300~499万円	~299万円
全世帯	全国	12.9	41.0	25.2	21.0
	大阪府	12.7	41.6	26.1	19.5
	東京都	17.5	38.5	22.5	21.4
	愛知県	15.1	42.0	25.2	17.7
H24	全国	11.3	36.2	24.6	27.9
	大阪府	9.4	32.8	26.0	31.8
	東京都	15.3	34.4	23.6	26.7
	愛知県	12.8	39.1	24.3	23.8

出典：総務省「就業構造基本調査」※平成4年は55歳未満、平成24年は60歳未満の割合

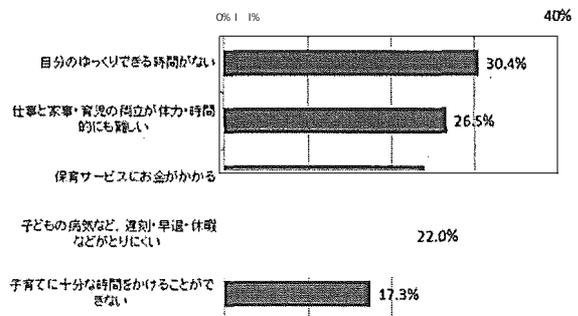


出典：総務省「平成24年就業構造基本調査」

59

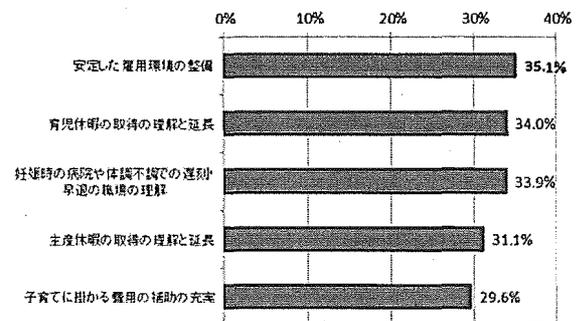
3,
9, 0x

9, 0x



出典：大阪府「婚活・子育て応援事業報告書」(2015)より企画室作成

妊娠・出産時に職場で必要なこと【大阪府】



81 f

9, 0x

60

3,
9, Ox

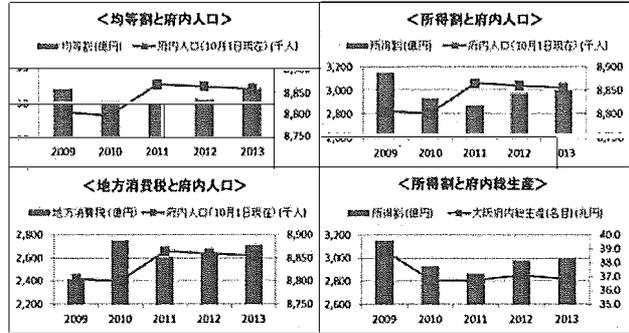
9,

Ox

Ox

9,
Ox

9,

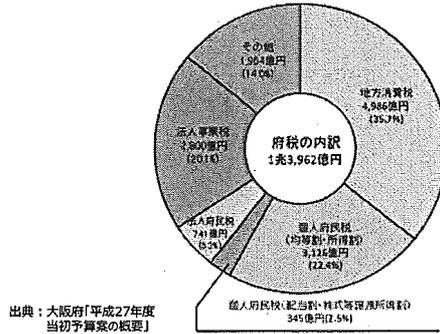


出典：総務省「人口推計」、内閣府「国民経済計算」

平成27年度大阪

9,

Ox



出典：大阪府「平成27年度当初予算案の概要」

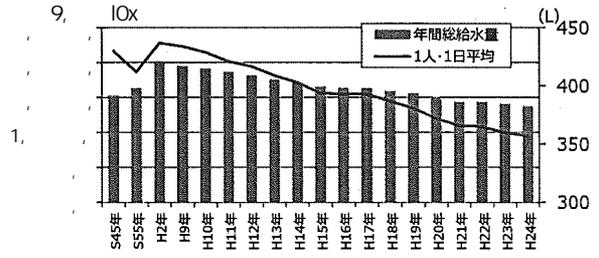
81

3,
9, Ox

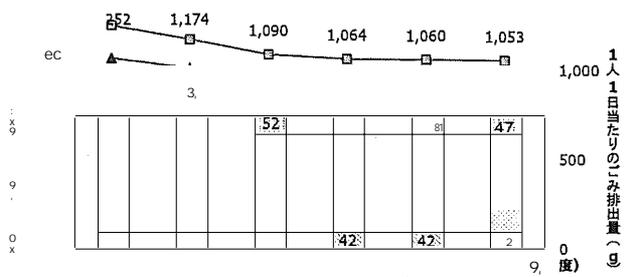
9,

Ox

,0



出典：大阪府「平成26年大阪府環境白書」



1==

9,

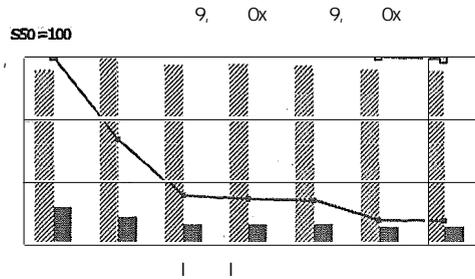
Ox

64

81

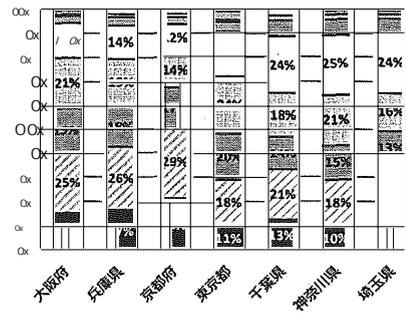
3,
9, 0x

x9



81

,0,081

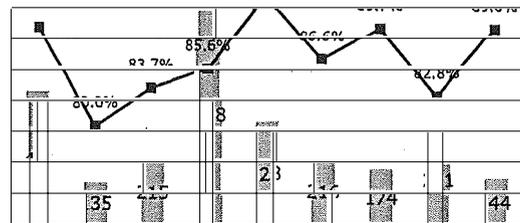


出典：総務省「平成25年住宅・土地統計調査」

[8181

3,
9, 0x

の段差解消への対応状況



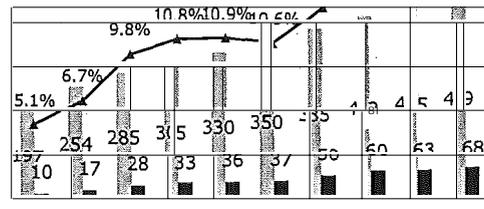
大阪府 京都府 兵庫県 東京都 神奈川県 千葉県 埼玉県 愛知県 福岡県

■ 1日当たりの平均利用者数が3千人以上の駅数
 ■ 公共交通移動等円滑化基準第4条に適合している設備により段差が解消されている駅の割合

81

9, 0x

9, 0x
3, 0x



■ 総住宅数 ■ 空家数 ▲ 空家率

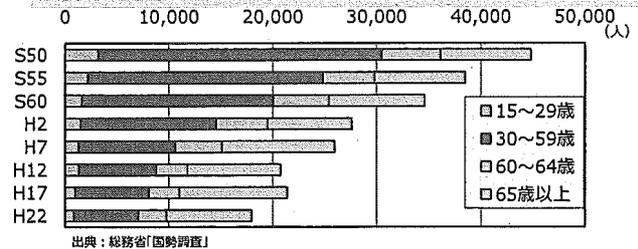
出典：総務省「住宅・土地統計調査」

66

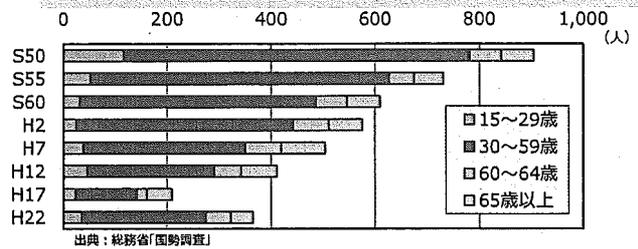
3. 人口減少・超高齢社会の影響 (3) 都市・まちづくり ■ 都市構造の変化

- ⑤ 担い手減少による農地・森林の荒廃
府内の農業、林業の就業者数は減少傾向にあり、高齢化も進んでいます。
これに伴い、放置森林、耕作放棄地の拡大が続いていますが、今後、少子高齢化により、これらがさらに進展する可能性があります。

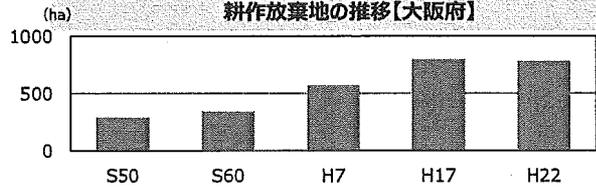
農業就業者数の減少と高齢化【大阪府】



林業就業者数の減少と高齢化【大阪府】



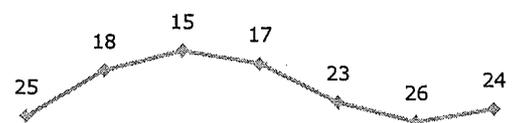
耕作放棄地の推移【大阪府】



3. 人口減少・超高齢社会の影響 (3) 都市・まちづくり ■ 都市としてのプレゼンスの相対的低下

- ① 都市のにぎわいの低下
今後、少子高齢化の進展に伴い、生産年齢人口が減少すると、大阪府内のにぎわいや活力が低下し、都市としての地位が低下するおそれがあります。
大阪の豊かな文化や歴史、地域資源などを活用・発信し、都市としての魅力を高めて人口流出を食い止めるとともに、昼間人口や交流人口を増加させ、にぎわいや活力を維持、拡大することが求められます。

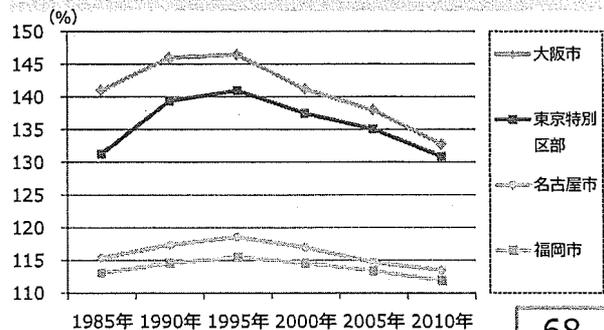
世界の都市ランキング「総合」の順位



2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年

出典：財団法人森記念財団 世界の都市総合力ランキング

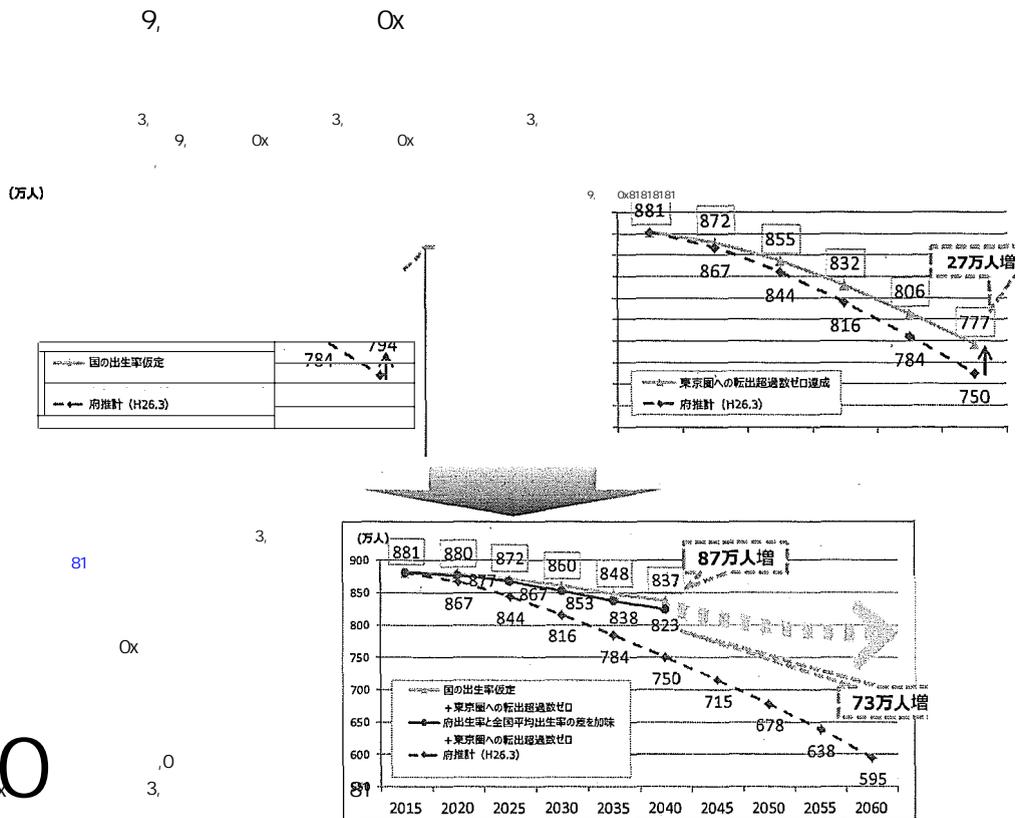
各都市別の昼夜間人口比率の推移



* 昼間人口：就業者または通学者が従業・通学している従業地・通学地による人口で、国勢調査の従業地・通学地集計の結果を用いて算出される人口です。
* 交流人口：通勤・通学のほか、観光、買い物、レジャーなど何らかの目的で域外から訪れる人口です。

4. 人口の将来見通し・基本的な視点・ 取組みの方向性

8181



Ox 9,

Ox

9, Ox

3,

9, Ox

818181

71

3,

72

9, Ox ,

x9

81 3, 81 3, 81 3,

x9 81 3, 3, 81 3, 81 3,

x9 4, 81 3, 81 3, 9, 81 3, Ox Ox 81 3,

x9 4, 81 , Ox 81 ,